

令和5年度事業報告書

(P. 1~107)

社会福祉法人 いわき市社会福祉協議会

目 次

令和5年度 事業報告	P. 1
主な重点事業	
1 住民支え合い活動づくり事業（市受託事業）	P. 2~3
2 住民支え合い事業	P. 4
3 つどいの場創出支援事業（市受託事業）	P. 5~6
4 年末年始 地域ささえあい助成事業	P. 7~8
5 いわき市社会福祉法人連絡協議会	P. 9
6 就労体験事業	P. 10
7 生活・就労支援センター運営事業（市受託事業）	P. 11~13
8 生活困窮者生活サポート事業	P. 14~16
9 法人後見事業	P. 17~18
10 日常生活自立支援事業（あんしんサポート／県社協受託事業）	P. 19~20
11 生活支援相談員等配置事業（県社協受託事業）	P. 21
12 重層的支援体制整備事業における多機関協働事業（市受託事業）	P. 22~23
13 いわき市子育て世帯ヘルパー派遣事業（市受託事業）	P. 24
14 令和5年台風第13号豪雨水害における取組みについて	P. 25~28
15 令和6年能登半島地震における取組み	P. 29~30

基本理念「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、
健康で自分らしく暮らせるまち いわき」

◇基本目標1 共に生きる社会をつくるために	P. 31~51
◇基本目標2 支え合い、誰もが安心できる地域をつくるために	P. 51~76
◇基本目標3 健康で自分らしい暮らしをつくるために	P. 77~81
◇組織および組織運営	P. 81~86
◇財源および財務運営	P. 87~89
◇職員体制および職員研修	P. 89~94

関係資料

◇住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況	P. 95
◇住民支え合い活動実施状況（第3層協議体）	P. 96~97
◇いわき市ボランティア活動助成状況	P. 98
◇社会福祉センター利用状況	P. 99
◇福島県共同募金会いわき市共同募金委員会 歳末たすけあい募金実績・配分結果	P. 100
◇福祉総合相談センター各相談実績報告	P. 101~102
◇生活福祉資金地区別取扱い状況一覧	P. 103
◇ホームヘルプセンター事業実施状況	P. 104
◇会員会費推進状況	P. 105~106
◇福島県共同募金会いわき市共同募金委員会実績	P. 107

令和5年度 事業報告

令和5年度の事業推進にあたっては、第4次地域福祉活動計画（令和3年策定）及び事業方針に掲げる重点項目に則した事業展開をすることとしましたが、コロナ禍から4年が過ぎ、昨年5月から感染症法の位置づけが5類に移行され社会や経済の動きも徐々に戻りつつある一方で、新型コロナウイルス感染症の影響が各種事業の実施において根強く残る一年となりました。

このような中、いわき市社会福祉協議会（以下、「本会」という。）では、地域福祉の中核を担う社会福祉協議会としての使命をはたすべく、工夫を凝らしながら「住民支え合い事業」をはじめ地区協議会が実施する様々な地域福祉事業の展開を図るとともに、特に支援を必要とする「日常生活自立支援事業（あんしんサポート）」や「法人後見事業」、「介護保険サービス事業」等の利用者に対して、切れ目のないサービスの提供に努めました。

また、コロナ禍においてさらに複合化、複雑化した課題を抱える市民からの相談を真摯に受け止め、関係機関と連携しながら重層的な相談支援を行い、必要に応じて「生活・就労支援センター」や「生活困窮者生活サポート事業」の支援につなげる等、本会の持つ力を十分に活かしながら、組織横断的な体制での相談支援に努めるとともに「重層的支援体制整備事業における多機関協働事業」等の実施により、課題解決に対応すべく包括的な支援体制とネットワークの構築に努め、本会の基本理念である「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき」の実現に向け、取り組みました。

さらに、昨年9月に発生した台風第13号に関連した大雨による災害では、市の要請に基づき、「いわき市災害ボランティアセンター」を立ち上げ、災害支援ネットワーク Iwaki をはじめ県内外の災害支援団体・社協職員の応援を受けて、延べ5,340人の災害ボランティアの活動調整を行うとともに市職員と協働で訪問による被災地域への情報提供協等を行い被災された一人ひとりに寄りそった支援活動に努めるとともに本年1月の令和6年登半島地震では、これまでの被災経験を活かし職員等の派遣や物資等の提供をはじめ被災地への支援に取り組みました。

以下、主な重点事業及び第4次地域福祉活動計画に基づく事業実施状況について、報告します。

主な重点事業

1 住民支え合い活動づくり事業（市受託事業）

地域住民や企業など多様な主体による生活支援サービスの充実をめざし、地域で暮らす高齢者をはじめ、子育て世代、子どもや障がい者など何らかの関わりやつながりを必要とする方々にごのような支援が求められているのかを共に考え、できる・やりたい・必要と考える「住民支え合い活動」の創出を支援。

(1) 実施体制

- ア 総括生活支援コーディネーター 1名（地域福祉課）
- イ 地域福祉コーディネーター 13名（市内13圏域の各地区協議会に配置）
- ウ 生活支援コーディネーター 7名（地区保健福祉センター内の地区協議会に配置）

(2) 住民支え合い生活支援サービスの実施

高齢者等が抱えている生活課題や困り事に対応するため、必要な生活支援サービス（ゴミ出し・片付け・電球交換など）を提供し、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援

※住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況については、関係資料P95

(3) 担当者会議の実施

- ア 年8回開催
- イ 第2層協議体会議の開催状況に関する情報共有
- ウ 住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況の確認

(4) 第2層協議体の設置・運営

- ア 第2層協議体の設置
13圏域（旧市町村）に設置
- イ 第2層協議体の構成員
20名程度で構成
主な構成員は、行政嘱託員（区長） 民生児童委員 老人クラブ 青年会 婦人会 民間企業 社会福祉法人 協同組合 NPO法人 ボランティアグループ 支え合い活動実践者 行政等
- ウ 第2層協議体の開催状況
年2回開催
※各地区の開催状況は次頁参照

(5) 第2層協議体における取り組み

- ア 住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況の確認
- イ 第3層協議体による支え合い活動の状況確認
- ウ 新たに住民支え合い活動に関心を示す行政区などへの働きかけ

【第2層協議体会議開催状況】

地区名	第13回	第14回	構成員数	地区名	第13回	第14回	構成員数
平	8月29日	3月19日	19	小川	—	3月14日	18
小名浜	9月6日	2月29日	22	好間	8月31日	3月21日	20
勿来	9月6日	3月18日	19	三和	8月30日	3月26日	17
常磐	9月4日	3月18日	22	田人	—	3月8日	17
内郷	1月29日	3月28日	16	川前	9月28日	3月18日	17
四倉	9月1日	3月18日	20	久之浜・大久	9月5日 (第12回)	3月21日 (第13回)	26
遠野	9月5日 (第14回)	3月13日 (第15回)	19	合計			252

成果

令和5年度は、3地区を新たな第3層協議体として立ち上げることができた。また、第2層協議体会議において、事例検討を用いた意見交換会を実施し、各団体への理解や情報共有、地域支援への意識醸成等に努めるとともに、住民支え合い生活支援サービスにおける「有償ボランティア」および「実費弁償費」について協議を行った。有償ボランティアについては賛否両論があり、すぐに有償化を図るものではないが、今後第3層協議体において有償ボランティアに関心のある地区については、支え合いを拡充していく一つの手段として有償ボランティアも紹介していきたいと考える。

課題

サポーター登録数に対して相談件数が少ないことから、現状のサービスの検証が必要である。第2層協議体会議において意見交換を行ったことで、構成員から様々な意見を聞くことができたため、これらの意見を基に、住民支え合い生活支援サービスをどのように展開していくか検討したい。

2 住民支え合い事業

地区協議会に配置の地域福祉コーディネーター（地区職員兼務）が生活支援コーディネーターと連携し、地域住民の生活圏域である行政区・自治会・小学校圏域を指定し、新たな第3層協議体（住民組織）の設置及び支え合い活動を支援するもの。

(1) 事業内容

行政区・自治会・小学校区等における活動

- ア 地域の福祉課題や生活支援ニーズの解決に向けて協議する協議体の設置
- イ 避難行動要支援者マップを作成し、支援対象者の把握や地域資源を確認
- ウ 住民支え合い活動への理解を深めるための研修会の開催
- エ 支え合いサポーターの養成・登録
- オ 日常的な見守りや声掛け、話し相手などの訪問活動
- カ 住民同士の交流の場（つどいの場）の創出と展開
- キ 生活支援（ごみ出し、窓拭き、買物代行等）を実施
- ク その他関係する活動

※住民支え合い活動実施状況（第3層協議体）については、関係資料P96～P97

成果

つどいの場や民生児童委員協議会定例会など、様々な機会で本事業の説明を行ったことで、新たに3地区を立ち上げることができた。立ち上げには至らなかったものの、前向きに検討してもらえた地区があり、事業に対する理解を深めることができた。

また、昨年9月に発生した台風13号に関連した大雨災害の際には、支え合い活動を実施する地区において、迅速にサポーターが協力し合い、住民への声掛けや情報収集・支援情報の提供などを行うことができた。

課題

様々な機会で本事業の説明を行っており、事業の重要性等については理解を得られるものの、新規地区としての立ち上げには至らないことが多い。昨年9月に発生した台風13号に関連した大雨災害において、支え合い活動が効果的に機能した事例があり、地域コミュニティが大きな力となることから、成功事例を紹介しながら新規立ち上げに向けて働きかけたい。

3 つどいの場創出支援事業（市受託事業）

高齢者を年齢や身体の状態によって分け隔てることなく、誰もが気軽に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指し、介護予防に役立つ活動を地域の实情に応じて充実させ、人と人とのつながりをとおして、参加者やつどいの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進。

(1) 実施体制

地域福祉コーディネーター 18名（市内13圏域の各地区協議会に配置）

(2) 実施内容

- ア 地域資源の整理
- イ コーディネート支援（活動プログラムに関する助言・講師派遣調整など）
- ウ つどいの場サポーターの養成
- エ はたらきかけ支援（新たに活動を検討する地域住民等に対する相談支援など）
- オ 運営支援
- カ 関係機関との情報共有

<地区別実施状況（補助金申請団体）>

地区名 (実施箇所数)	実施回数 延利用人数	地区名 (実施箇所数)	実施回数 延利用人数	地区名 (実施箇所数)	実施回数 延利用人数
平 (62)	1,882 21,815	四倉 (21)	449 3,947	田人 (10)	131 1,196
小名浜 (41)	870 9,919	遠野 (9)	162 1,441	川前 (8)	132 914
勿来 (32)	805 7,012	小川 (13)	231 2,139	久之浜・ 大久 (7)	142 1,010
常磐 (17)	407 4,210	好間 (16)	263 2,447	合計 (266)	5,966 60,737
内郷 (21)	407 3,824	三和 (9)	85 863		

(令和4年度：273箇所／4,760回／46,802名)

成果

住民自らが自主的に活動できるよう働きかけを行い、新たに13の団体が活動を開始した。令和4年度までは新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、基本的な感染予防対策を取りながら活動を行っていたものの、新規でつどいの場を立ち上げるのは難しい状況であった。今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に位置づけられたことで、つどいの場への参加意欲が高まり、新規団体の立ち上げを広く推進することができた。

課題

住民による自主運営が継続できるよう、各団体の活動内容や課題を把握し、課題解決に向けた支援を行うとともに、つどいの場の活動がより活性化するよう働きかけを行う。新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行し、様々な社会活動が本格的に再開されているが、つどいの場においては、コロナ禍で足が遠のいてしまった参加者や、活動自体を休止したままの団体もあり、参加者のフレイルや地域のコミュニティの希薄化が心配される。そのため、コロナ禍以前の参加者を呼び戻すだけでなく、新規参加者を募り、つどいの場を発展させていくことが重要であると考える。

4 年末年始 地域ささえあい助成事業（新規）

歳末たすけあい事業の一環として、市内で福祉活動を行う団体を支援し、住民参加による助け合いを促す事業に助成することで福祉活動の活性化を図る。

(1) 対象団体

- ア 事業を計画的に遂行できる営利、政治、思想の普及及び宗教活動を目的としない団体
- イ 地域福祉の推進及び生活支援を目的とする NPO 法人、ボランティアセンターに登録している団体
- ウ 住民ささえあい事業の第 3 層協議体

(2) 対象活動

- ア 生活困窮家庭など生活を支援する活動
- イ ひきこもり支援・不登校児のための居場所づくり
- ウ 要介護者等の見守り支援 など

(3) 助成金額（総額 400 万円） 1 団体あたり 1 事業とし、20 万円以内（千円未満切り捨て）

※法人格を有する団体については、社会福祉法人は申請事業費の 50%、NPO 法人は申請事業費の 80%を上限とする

(4) 申請期間 令和 5 年 9 月 1 日から 10 月 31 日まで

(5) 助成決定団体数・助成額 15 団体・計 948,000 円

<助成団体>

	団体名	事業内容	助成額
1	平第 24 区城山結いの会	要援護者の見守り訪問活動	19,000 円
2	平 48 区鎌田 愛結いの会	要援護者へのうどん提供	30,000 円
3	永崎区「ふれあい会」	要援護者の見守り訪問活動	8,000 円
4	金山すずらん会	要援護者の訪問活動	40,000 円
5	高坂七区二丁目自治会	要援護者への声掛け訪問活動	30,000 円
6	高野町 1・2 区（寄っかの会）	要援護者宅の訪問活動	30,000 円
7	宮 12 区住民支え合い事業	要援護者対象の忘年慰労会開催	42,000 円
8	中好間行政区	要援護者対象のクリスマス会開催	50,000 円
9	椎木平地区	要援護者対象の忘年会開催	22,000 円
10	北二区行政区	要援護者対象の忘年会開催	37,000 円
11	田代・沼平地区自治会	要援護者対象のクリスマス会開催	30,000 円
12	NPO 法人いわき自立生活センター	生活困窮者へ正月用食材の配布	200,000 円
13	NPO 法人 Commune with 助産師	不登校児等対象のクリスマス会開催	140,000 円
14	いつだれボランティア会	生活困窮者へ弁当の配布	200,000 円
15	はまどおり大学	不登校児対象のクリスマス会開催	70,000 円
合計			948,000 円

成果

福祉活動を行う団体を支援し、住民参加による助け合いを促す事業に助成することで、福祉活動の活性化を図ることが出来た。

課題

助成額総額に対して申請件数が少なかったため、早期からの案内および申請受付を行うこととする。また、申請団体の大半が3層協議体であったため、より多くの団体に周知を図りたいと考える。

5 いわき市社会福祉法人連絡会議

市内の社会福祉法人が一堂に会し、地域を取り巻く福祉に関する情報共有を図るとともに、法人間のつながりを強化し、地域貢献に対する情報交換の場となるよう開催するもの。

(1) 実施状況

ア 社会福祉法人間のコミュニケーションツール（LINE WORKS）の導入

令和4年11月30日に開催された第1回連絡会議において、連絡会議開催時以外にも法人間で情報共有等を図ることができるよう、コミュニケーションツールの導入について意見があった。この意見を踏まえ、コミュニケーションツール「LINE WORKS」を導入し、法人間の意見交換等に活用できるよう整備した。

○市内46法人中4法人が登録（令和6年3月31日現在）

- イ 活用方法：チャット機能を活用した意見交換
掲示板機能を活用した行事の周知
ビデオ通話機能を活用した打合せ 等

成果

連絡会議に参加した法人に「いわき・ふれあい・ふくし塾」の講師を務めていただくことで、法人間の連携を図ることができた。

課題

コミュニケーションツールを導入したものの、登録する法人が少ないことから、本会が自ら情報を発信し、ツール未導入の法人に対して導入を働きかけ、情報共有等を図った上で連絡会議の開催につなげたい。

6 就労体験事業（新規）

引きこもり等の要因により、就労支援や就労準備支援など既存の制度に適應できていない方に対し、就労意欲の向上と社会参加の促進が図られるよう就労体験等の機会を提供し、将来的に就労準備支援事業所の利用や一般就労へのきっかけづくりとなる事を目的として支援を行う。

(1) 事業対象者

生活・就労支援センター等で相談支援を受けた次に該当する者

- ア 市内に居住する生活困窮者
- イ 市内に居住し、本事業の参加を希望する者
- ウ その他、本事業の利用が適当と思われる者

(2) 事業実施内容

月2回程度を想定し、平日2時間程度で次の作業を行い、1時間500円を作業終了後に支給。

- ア フードバンク食糧品の仕分け
- イ 事務補助（広報紙の仕分け作業等）
- ウ その他、本事業に適当と認める作業

(3) 実施状況

- ア 利用者 1名（20代男性） ※令和5年5月25日より体験開始
- イ 作業回数 19回 38時間（延べ）
- ウ 体験スケジュール
 - ・体験内容の確認、安全作業の確認
 - ・就労体験（フードバンク倉庫の整理、精米・小分けなど）
 - ・掃除
 - ・振り返り

成果

就労体験の機会を提供することにより、就労に向けて必要なルールとマナーが身に付いてきており、就労や社会参加への意欲を高めることができた。

課題

利用者が抱えているさまざまな課題に対応するため、関係機関・地域の企業や団体と連携し、体験プログラムの充実を図っていく必要がある。

7 生活・就労支援センター運営事業（市受託事業）

就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性やその他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言をするほか、関係機関と連携しながら問題の解決に向けた支援。

(1) 相談状況

ア 相談件数（件）

年度	R 5 年度		R 4 年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
相談対応人数	749	—	1,234	—
うち新規相談	332	44.3	584	47.3
うち継続支援	417	55.7	650	52.7
延べ相談対応件数	2,498	—	3,489	—

イ 地区別相談件数（件）

地区	R 5 年度 (A)	R 4 年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
平	89	174	△85
小名浜	59	131	△72
勿来	41	68	△27
常磐	22	54	△32
内郷	36	49	△13
四倉	11	19	△8
遠野	1	2	△1
小川	6	10	△4
好間	13	41	△28
三和	2	1	1
田人	0	2	△2
川前	1	1	0
久之浜・大久	1	7	△6
市外	4	11	△7
その他（不明を含む）	46	14	32
合計	332	584	△252

ウ 男女の別（人）

性別	R 5 年度		R 4 年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
男	209	63.0	382	65.4
女	123	37.0	202	34.6
合計	332	—	584	—

エ 年代別の人数と割合

年 代	R 5 年度		R 4 年度	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
10代	3	0.9	6	0.6
20代	31	9.3	77	16.6
30代	45	13.6	116	20.5
40代	64	19.3	125	21.1
50代	66	19.6	132	20.3
60代以上	89	26.8	119	17.3
不明	34	10.2	9	3.6
合 計	332	—	584	—

オ 相談内容（国への月次報告実績）※内容の重複

内 容	R 5 年度		R 4 年度	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
病気や健康、障がい	75	8.4	61	5.8
住まい	94	10.5	58	5.5
収入、生活費	211	23.7	503	47.6
家賃、ローン	71	8.0	68	6.4
仕事探し、仕事上のトラブル	170	19.1	164	15.5
引きこもり、不登校	16	1.8	14	1.3
その他(税の支払い、家族関係等)	255	28.6	189	17.9
合 計	892	—	1,057	—

カ 支援の状況（件）

支援内容		R 5 年度	R 4 年度
プラン作成数（再プラン含む）		91	100
継続支援件数		114	111
就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標にしている）		68	60
法に基づく事業等利用	住居確保給付金	23	38
	一時生活支援事業	21	17
	家計改善支援事業	0	1
	就労準備支援事業	0	0
	認定就労訓練事業	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	66	91
その他	生活福祉資金による貸付	5	37
	生活保護受給者等就労自立促進事業	36	47
一般就労者総数		57	81
増収者総数		8	18

キ 支援調整会議の開催

支援を要する方に対し、適切な支援を行うため、現状把握、アセスメント、支援体制の確立及び関係機関との調整と役割分担、また地域資源のネットワーク化を行うことを目的に開催。

- ア 開催状況 12回（毎月1回）
- イ 内容 プラン作成91件、プラン終結79件（累計）
- ウ 構成メンバー いわき市、家計改善支援員、NPO法人明日飛子ども自立の里、いわき公共職業安定所、指定就労支援事業所、本会

(2) 本事業に関わる職員の役割

- ア 主任相談支援員（1名）：相談支援内容及び進捗状況確認、助言、指導等のマネジメント
- イ 相談支援員（3名）：アセスメント、プランの作成、支援調整会議、相談支援の実施
- ウ 就労支援員（2名）：就労意欲の喚起を含む支援、履歴書作成指導、就労後の定着支援等

成果

令和5年度の新規相談件数は332件（前年度584件）で、令和4年9月に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金の特例貸付が終了したため相談件数は減少したが、継続支援を希望するケースの割合は令和4年度52.7%から令和5年度55.7%と増加となっており、適切なアセスメント、支援体制の確立を行った。

さらに、特定の住所がない（ホームレス・車中泊等）相談者の数が増加しており、一時生活支援事業や食料提供等の支援を行い、当該世帯の生活状況の改善や自立への一助につなげた。

課題

令和5年度の新規相談者のうち、60歳以上の相談が26.8%を占めている。高齢者雇用に理解のある企業と連携を図りながら就労支援に務めているが、土木業や警備業など体力を要する業種に限られており、相談者の希望に合わず就労先が見つからないケースもあることから、引き続きハローワークや民間企業などとの連携を図り、多様な雇用機会の確保に努めていきたい。

8 生活困窮者生活サポート事業（改編）

金銭的に困窮し、食糧等の確保ができなくなり日常生活に著しく支障をきたしている方々に、企業・市民等から提供を受けた食糧や生活用品等を提供することで、生活困窮者支援団体等と連携・協働しながら総合的な相談対応を行い、生活の再建と自立に向けた支援を行う。

(1) たすけあいフードバンク事業

生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合会が運営する「コープフードバンク」及び企業・市民等から提供を受けた食糧等を生活困窮世帯及び児童養護施設等へ定期的に給付し、生活の安定や自立支援を行う。

ア 生活困窮世帯への給付：22世帯

世帯区分	R 5年度 (A)	R 4年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
単身世帯	1	1	0
うち高齢世帯	(0)	(0)	0
うち障害者世帯	(1)	(0)	1
複数世帯	21	16	5
うち子どもがいる世帯	(21)	(16)	5
うちひとり親世帯	(17)	(15)	2
うち子どものみ世帯	(0)	(0)	0
うち高齢世帯	(0)	(0)	0
うち障害者世帯	(0)	(0)	0
合計	22	17	5

イ 地区別内訳

地区名	世帯数	地区名	世帯数	地区名	世帯数
平	6	四倉	2	田人	0
小名浜	2	遠野	0	川前	0
勿来	10	小川	0	久之浜・大久	0
常磐	0	好間	0	合計	22
内郷	2	三和	0		

ウ 児童養護施設等への給付：1件

(内訳)

- ・サポートアクションいわき実行委員会（1件）

エ 企業・市民等からの寄贈：34件

(内訳)

- ・企業・団体：21件
 マルハンいわき店（9件）、（株）郷邑舎（2件）、性源寺（2件）（株）ダイナム（2件）福島さくら農業協同組合所女性部神谷支店、一般社団法人食品ロス・リポーンセンター・豊間区夏まつり実行委員会、東北電力ネットワーク株式会社いわき電力センター
 NPO法人ザ・ピープル、JA福島さくらいわき地区
- ・市民：13件

(2) 一時的食糧等支援事業

食糧がない世帯やライフラインが止まっている世帯に対し、緊急的かつ一時的に食糧及び生活用品等を各地区協議会へ配備し給付を行うことで、当座の生活の安定を図り、当該世帯の自立に向けた就労支援や家計改善支援等につなげ、継続的な支援を行うもの。

ア 支援世帯： 81 世帯

世帯区分	R 5 年度 (A)	R 4 年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
単身世帯	46	43	3
うち高齢世帯	(10)	(15)	△5
うち障害者世帯	(0)	(2)	△2
複数世帯	35	28	7
うち子どもがいる世帯	(19)	(14)	5
うちひとり親世帯	(6)	(8)	△2
うち高齢世帯	(0)	(5)	△5
うち障害者世帯	(1)	(1)	0
合計	81	71	10

イ 地区別内訳

地区名	世帯数	地区名	世帯数	地区名	世帯数
平	20	四倉	4	田人	0
小名浜	9	遠野	0	川前	1
勿来	10	小川	0	久之浜・大久	2
常磐	8	好間	6	その他	13
内郷	7	三和	1	合計	81

(3) 乳幼児のいる世帯支援事業

粉ミルクや離乳食・紙おむつ等を給付することで、当該世帯の生活状況の把握に努め、子どもの健全な育成と経済的自立や新たな支援の構築を図り、必要な支援につなげるもの。

ア 支援世帯数： 5 世帯

(4) DV被害者支援事業

NPO 法人いわきふれあいサポートと連携し、DV被害者の経済的自立に向けた情報の提供や生活用品等の給付を行うもの。

ア 給付件数： 36 件

- ・配布物：トイレトペーパー、ティッシュペーパー、ハンドソープ、
歯磨き粉、洗濯洗剤、生理用品

(5) 就職活動準備支援事業

面接用スーツ等が用意できない生活困窮者に対し、スーツや靴等の貸出・支給を行うことで、就労面接時及び就労後に不利益を被ることが無いよう支援を行うもの。

ア 支援件数： 3 件

- ・貸出、支給物：スーツ等貸出 2 件、散髪支援 1 件

成果

他機関において本事業への理解が図られたことにより、利用世帯が増加傾向となっている。

本事業をきっかけに、これまで潜在化していた世帯に対して、関係機関と連携を図りながらアウトリーチすることができ、生活困窮者やその世帯に対して生活の再建と自立に向けた支援を行うことができた。

また、令和5年度新たに創設した就職活動準備支援事業においては、スーツ等の貸出を行うことで、就職面接時に不利益を被ることがないように支援を行うことができた。

課題

本事業は利用世帯の自立に向けた支援に繋ぐことを目的として実施しているが、本人がこれ以上の支援を拒否するなどの理由で、本事業の利用のみに留まり、継続的な支援につながらないケースがあるため、就労支援や家計改善支援などにつなぎ、生活再建に向けた支援を進めていきたい。

また、利用世帯が増加する一方で、食糧の確保が不十分となっているため、関係機関や地域の企業と連携しながら食糧の確保に努めていきたい。

9 法人後見事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会が後見人になり、財産管理や身上監護を中心とする権利擁護サービスを提供。

(1) 事業対象者

いわき市在住で、他に適切な後見人等を得られない者のうち、次のいずれかの要件を満たす者。

- ア 日常生活自立支援事業（あんしんサポート）の利用者
- イ 市長申し立ての請求を行う者

(2) 受任状況

区分（類型）	新規受任数	令和6年3月末受任数
補助（判断能力が不十分な方）	0（0）	1（1）
保佐（判断能力が著しく不十分な方）	0（2）	3（3）
後見（判断能力が全くない方）	3（0）	6（4）
合計	3（2）	10（8）

*（ ）は、前年度実績

(3) 運営委員会の設置及び開催状況

後見業務の実施にあたり、受任の適否の判断、後見業務の指導を行い、適切な後見業務を担保するため学識経験者や法律関係者で構成される運営委員会を設置。

ア 委員構成 3名

委員長：鎌田 真理子氏（医療創生大学教養学部地域教養学科 教授）

副委員長：大和田 亮氏（福島県司法書士会いわき支部 司法書士）

委員：金田 康裕氏（福島県弁護士会いわき支部 弁護士）

イ 開催状況

	開催日	主な内容
第1回	令和5年7月27日（木）	・受任案件の報告8件 ・新規案件の審査1件
第2回	令和5年9月25日（月）	・新規案件の審査1件
第3回	令和5年12月19日（火）	・受任案件の審査9件 ・新規案件の審査1件

成果

令和5年度の新規受任は3件で、権利擁護・成年後見センターと連携を図りながら円滑な受任に繋げることができた。また、日常生活の金銭管理のみならず、東京電力福島第一原子力発電所事故に係る追加賠償や電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金について申請業務を行う等、適切に権利を行使し、対象者が安心した生活を送れるよう支援を行った。

課題

担い手の見つからない市長申立て案件が増えており、本会への期待は高いものの、現在の人員体制では急激な受任件数の増は困難である。引き続き権利擁護・成年後見センターと連携を図り、市民後見人と複数後見を行っているケースの単独受任への移行を行いながら新たなケースの受任に努めていきたい。

10 日常生活自立支援事業（あんしんサポート／県社協受託事業）

判断能力が十分でなくなってきた方（認知症高齢者、知的・精神障がい者など）が、地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの援助。

(1) 本事業に関わる職員

- ア 専門員：利用者の状況やニーズを把握し、自立支援に向けて適切な援助を行うため初期相談及び契約の締結、支援計画の作成を行う。（常勤 3 名）
- イ 生活支援員：専門員が作成する支援計画に基づき、具体的な支援を行う。（非常勤 24 名）
- ウ 地区協議会職員：初期相談を対応し、専門員が契約するにあたっての調整役を担う。

(2) 相談の状況

(件)

	問い合わせ	初回相談	継続等相談援助	合計
1 認知症高齢者	16	16	1,094	1,126
2 知的障がい者	7	3	531	541
3 精神障がい者	5	10	984	999
4 不明・その他(身体障がい者他)	5	4	112	121
合計	33	33	2,721	2,787

(令和 4 年度： 59 件 13 件 4,256 件 4,328 件)

(3) 契約の状況 14 件 (令和 4 年度： 9 件)

(内訳：認知症高齢者 6 件 知的障がい者 3 件 精神障がい者 5 件 その他 0 件)

(4) 地区別利用者の状況 (継続利用者 74 名)

(名)

地区名	R 5 年度末 (A)	R 4 年度末 (B)	比較増減 (A) - (B)
平	22	22	0
小名浜	10	10	0
勿来	5	3	2
常磐	14	17	△3
内郷	14	14	0
四倉	4	5	△1
遠野	1	0	1
小川	1	1	0
好間	2	1	1
久之浜・炊	1	1	0
合計	74	74	0

(5) 関係機関・団体等への制度周知 (講師派遣) なし

成果

令和4年度に比べ、新規契約件数の増となり、利用者の生活状況に応じた福祉サービスの利用や、制度の申請援助を行うことで、利用者の安心安全な生活に繋がった。

また、利用者の半数以上は、在宅生活であり、浪費・多重債務・消費者被害などの問題に遭遇しやすい状況にあるが、定期的に専門員や生活支援員が関わることで、問題を早期に発見し、関係機関と連携を図りながら解決に努めた。

課題

新規契約件数について、令和4年度よりも件数は増加したが、新規相談ケースについて長期間にわたり待機するケースが生じてしまったため、今後も継続利用者の適切な支援はもちろんのこと、新規相談ケースについても関係機関と連携を図りながら円滑な相談対応に努めていきたい。

11 生活支援相談員等配置事業（改編）（県社協受託事業） （いわき市内配置避難者地域支援コーディネーター一元化事業）

被災者の生活復興支援のため平成23年7月から生活支援相談員を配置し、災害公営住宅等における見守り、相談、福祉制度の情報提供、被災者を中心とした交流の場づくり等を行うとともに、令和4年度からは、福島県社協において、避難者地域支援コーディネーターが新設され、本会では生活支援相談員と併せて配置し、復興公営住宅団地の見守り支援等を行ってきた。

令和5年4月12日に福島県社協と本会及び避難元5社協（楡葉、富岡、大熊、双葉、浪江町）と「避難者地域支援コーディネーター」活動の一元化に係る協定の締結を行い、本会を拠点に「社協連携避難者支援センターいわき」を開設し、「地域支援」と「見守り強化」に向けた取り組みを行った。

(1) 避難者地域支援コーディネーター配置状況 2名（生活支援相談員と兼務）

(2) 生活支援相談員取り組み状況（個別支援）

- ア 対象世帯数：15世帯（令和6年4月1日現在）
- イ 訪問状況：128件（事業開始から延べ件数 143,855件）
- ウ 交流会実施回数：6回（事業開始からの開催回数 1,635回）
- エ 交流会参加人数：33名（事業開始からの参加人数 27,161名）
- オ 避難元5社協と連携した復興公営住宅への訪問状況：695件

(3) 避難者地域支援コーディネーター取り組み状況（地域支援）※一元化事業業務

- ア 復興公営住宅団地集会所を利用した定期的な居場所作り
 - ・集会所開放「よらっせ」実施回数：108回
 - ・参加人数：延べ500名
- イ ふれあいだよりの発行：12,000部
- ウ 地区協議会や関係団体等との情報交換会：10回

成果

生活支援相談員が実施していた被災者サロン（久之浜東団地、四倉南団地）について、つどいの場や自主的な活動へ移行することができた。

また、避難者地域支援コーディネーターの活動では、避難元5社協（楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町）と一体的に活動を行うことで、復興公営住宅団地やその立地する地域の情報を集約し可視化しながら、統一した方針で地域支援を進めていくことができた。

課題

復興公営住宅団地やその立地する地域の情報を可視化することはできたが、住民のニーズの拾い上げが不十分であるため、避難先の生活支援相談員や避難元の民生児童委員協議会と復興公営住宅が立地する地域の民生児童委員協議会との情報共有の場を設け、連携協働した見守り支援体制の構築に努めていきたい。

12 重層的支援体制整備事業における多機関協働事業（市受託事業）

市町村において、既存の相談支援や地域づくりの支援の取組を活かし、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、①包括的相談支援事業（断らない相談窓口の設置）、②多機関協働事業、③アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、④参加支援事業、⑤地域づくり事業を一体的に実施する重層的支援体制整備事業が創設された。

本会では、多機関協働事業を受託し、事業に関わる関係者の連携の円滑化を進めるなど、既存の相談支援機関をサポートし、包括的な支援体制が構築できるよう支援する。

(1) 実施状況

ア 既存ケース（令和4年度の相談3件）の進捗確認

イ 重層的支援会議の開催

- ・開催日：令和5年8月30日
- ・内容：障害認定及び障害年金を受けるまでの期間の支援について協議

ウ いわき市災害ボランティアセンターでの支援において顕在化した複合的に福祉ニーズを抱えた世帯や制度の狭間にある世帯等に対する支援体制の整備

エ 新規ケース（6件）の受理・アセスメント・支援方針の樹立

No.	種別	年代	性別	地区	状況
1	精神障がい	50代	男性	勿来	病態が安定せず、病院受診も不定期 高齢の親と同居
2	重度糖尿病	50代	男性	勿来	病態が悪いが、経済的困窮により未受診 高齢の親と同居
3	精神障がい (疑い)	50代	男性	勿来	ひきこもり 高齢の親と同居
4	精神障がい (疑い)	50代	男性	常磐	ひきこもり 高齢の親と同居
5	身体障がい	60代	女性	四倉	障がい認定を受け、障がい年金受給までの生活 (傷病手当の定期的な申請、生活費の払戻し、 障がい年金の申請等)の支援が必要
6	身体障がい	30代	女性	川前	訪問系のサービスを希望しているが、社会資源 が少なく、調整が困難 高齢の親と同居

オ 地域ケア個別会議への参加

- ・開催日：令和6年2月29日
- ・内容：「8050」世帯の支援において何ができるか考える

成果

既存の制度だけでは解決できない事案において、課題の解きほぐしや優先順位の整理、さらには制度にないものは本会の独自事業として今後検討していくことも含め、対応することができた。また、本事案を通して組織横断的な連携について実体験を持つことで意識することができた。

災害ボランティアセンターにおいては、家具の搬出や泥だしなどの作業系のニーズだけに着目するのではなく、福祉ニーズを抱えていないかの視点をもって支援にあたることができた。

重層的支援会議という形にはあまり繋げられなかったが、アセスメントを行う中で情報が整理され、必要な支援の検討や新たに開発が必要な社会資源などの協議まで至ることができた。

課題

困りごとを抱えた個としての視点だけでなく、個をどのように地域で支え、再発を防いでいくか、制度にはないものをどのように支援していくかの視点がまだまだ組織内で不十分であり、実体験を重ねることで今後も職員の意識の変容に努めていく必要がある。

令和5年度に新たに挙げられた事案においては、精神障がい（疑いを含む）を有している方が多く、支援者を警戒して会えない、または支援者に対しての執着や攻撃性が高い方がおり、担当者が対応に苦慮している様子が散見された。

また、ひきこもりや「8050」問題を抱えている世帯も多く、親亡き後の問題を考える必要性については感じているものの、体裁を気にしたり、現状よりも関係性が悪化してしまうことを恐れて支援を拒否する世帯もあり、やむを得ず消極的な支援しか出来ていない事案も見られた。

いずれの支援においても担当者が疲弊しては支援が滞るだけでなく、支援を行うことへの不安感から消極的な支援を続けることに繋がってしまうことから、事業を利用する中で、担当者が孤立しないで支援が行えるよう関係機関が協働し、様々な視点から対象者と関わり、支えていく仕組みづくりや社会参加のきっかけとなるような対象者の特性に適したバリエーションに富んだ中間就労の場の開拓が必要だと感じた。

13 いわき市子育て世帯ヘルパー派遣事業（新規）（市受託事業）

いわき市では、令和5年度6月より家事・育児に対し不安や負担を抱える児童等がいる家庭に対し、ホームヘルパーを派遣する子育て世帯ヘルパー派遣事業を実施することとなり、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・育児などの支援を実施することで家庭環境や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりの未然防止や、児童の負担軽減を図り、家庭における児童の健全な育成に資することを目的として実施する。

(1) 対象者

次のいずれかに該当する家庭

ア 本来本人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている児童が属する家庭

*対象児童は、要対協の要支援児童に登録又は登録予定。

イ その他、市が特に支援が必要と認める児童等がいる家庭

(2) 実施内容

ア 家事支援 食事の準備及び片付け、衣類の洗濯、補修、居室等の清掃、整理整頓、生活必需品の買い物、その他必要と認められる家事援助

イ 育児支援 授乳、食事介助、おむつ、衣類交換、沐浴、入浴介助、兄弟の世話、保育園等送迎支援、その他必要と認められる育児支援

(3) 支援の提供頻度及び期間

ア 支援時間及び回数

1回2時間、週1回を上限とする。

提供時間帯は、原則午前7時から午後8時まで。

イ 支援期間

利用は対象者からの申込みにより決定し、支援期間は最初の支援開始から6ヵ月以内
支援期間終了後も支援の継続が必要と市が認めた場合は、さらに6ヵ月の延長

*最長支援期間は設けない。

*令和5年度実績

利用者 1名（6ヵ月支援、さらに6ヵ月支援継続中）

利用回数 令和5年8月から令和6年3月まで 合計24回

支援内容 居室の清掃、整理整頓等

成果

こども家庭課のコーディネーターや担当地区の保健師と連携を取りながら、定期的な訪問を行い、利用者が希望する支援を行うことができた。

課題

今後、増えていくと思われる派遣要請に対応すべく、人員及び人材の確保に努めていきたい。

14 令和5年台風第13号豪雨水害における取組みについて

(1) 経過

日付	内容
9月9日	いわき市からいわき市災害ボランティアセンターの設置要請
9月10日	いわき市災害ボランティアセンター開設 被災者からの相談受付開始
9月11日	災害ボランティア活動開始 勿来地区サテライト開設 (南部アリーナ第二駐車場 10月15日閉所)
9月14日	被災者支援情報共有会議への参画(全3回)
9月16日	内郷内町立町サテライト開設 (内町立町集会所 10月10日閉所) 内郷宮町サテライト開設 (宮集会所 10月8日閉所) 内郷宮町金坂サテライト開設 (金坂集会所 9月24日閉所)
9月19日	技術系支援情報共有会議への参画
9月24日	内郷内町前田サテライト開設 (内町前田集会所 10月14日閉所)
9月26日	内郷白水町サテライト開設 (白水阿弥陀堂駐車場 10月14日閉所)
10月12日	被災者向け家屋保全講習会への協力 (全7回・10月31日まで) 主催：災害支援ネットワーク Iwaki
10月17日	ふくみちゃんカフェ(サロン)開始 支援者向け豪雨災害時の技術者養成講座への参加及び協力 (座学編全2回・技術編全2回) 主催：災害支援ネットワーク Iwaki
11月1日	週末型災害ボランティアセンターへ移行
12月8日	いわき市災害ボランティアセンター閉所

(2) 活動実績

ア ボランティア活動者数(延べ人数)

活動月	福島県内	福島県外	合計
9月	2,831	903	3,734
10月	840	712	1,552
11月	23	31	54
合計	3,694	1,646	5,340

イ 活動件数

地区	受付	キャンセル等	活動	完了	活動の種類		
					家具移動 動・運搬	室内清掃	土砂撤去
平	14	2	12	12	2	2	8
小名浜	2	0	2	2	1	2	2
勿来	36	8	28	28	19	5	18
常磐	41	9	32	32	29	12	22
内郷	667	81	586	586	295	137	361
遠野	2	0	2	2	1	1	1
小川	5	1	4	4	2	1	1
好間	38	8	30	30	31	7	22
合計	805	109	696	696	380	167	435

※活動の内容は重複します。

ウ 戸別訪問(ローラー)調査の実施

被災者に寄り添った支援のため、被災地域を中心に社協職員と市職員により、必要な情報の提供と制度説明及び生活状況とボランティア作業の確認等を行った。

- ・訪問地区 平、小名浜、勿来、常磐、内郷、小川、好間
- ・訪問期間 令和5年9月29日から10月26日まで
- ・訪問世帯 3,767世帯 面談率 66.1%
 - 内訳 第1回 3,569世帯
 - 第2回 1,618世帯(第1回目不在の世帯に対する再訪問)

(3) ふくみちゃんカフェ(サロン)の開催

災害支援ネットワーク Iwaki と共催により、被害が多かった内郷地区を中心に技術系支援団体等や「傾聴ボランティアみみ」の協力を得て開催。

ア 実施地区 内郷綴町・内町・宮町・白水町

イ 実施回数 13回

ウ 実施内容 家屋保全に関する講習会及び相談会、地域住民の交流の場づくり

(4) 被災者支援情報共有会議への参画

災害支援ネットワーク Iwaki が主催する被災者支援情報共有会議へ参画し、官民連携による被災者支援の展開と連携協働を図った。(全3回)

第1回 9月14日 第2回 9月28日 第3回 11月1日

(5) 主な連携協働団体

区分	県内	県外
災害協定(1)	・いわき青年会議所	
運営支援等(9)	・いわき市ボランティア 連絡協議会 ・災害支援ネットワーク Iwaki ・BOND&JUSTICE ・ライオンズクラブ 国際協会 332-D(福島)	・支援P (災害支援ボランティア活動支援プロジェクト会議) ・サイボウズ株式会社災害支援チーム ・JVOAD (全国災害ボランティア支援団体ネットワーク) ・全国曹洞宗青年会 ・ピースウィンズ・ジャパン
技術系支援(13)	・天理教福島教区災害救援 ひのきしん隊 ・ONE STEP	・IVUSA(国際ボランティア学生協会) ・OPEN JAPAN ・技術系災害ボランティア DRT TOKYO ・コミサポひろしま ・災害エキスパートファーム DEFTOKYO ・災害NGO 結 ・災害復旧支援ボランティアチームふじ さん ・日本財団災害事業チーム ・ボ活(日本財団ボランティアセンター) ・BIG UP 石巻 ・レスキューアシスト

(6) 各社会福祉協議会からの職員派遣

区分	社会福祉協議会名
災害協定等(6)	・東京都北区 ・群馬県前橋市 ・長野県岡谷市 ・長野県長野市 ・長野県松本市 ・長野県南箕輪村
北海道・ 東北ブロック(8)	・岩手県 ・岩手県一戸町 ・宮城県 ・宮城県仙台市 ・宮城県大崎市 ・宮城県川崎市 ・山形県 ・山形県上市
県内(40)	・福島県 ・福島市 ・二本松市 ・伊達市 ・本宮市 ・桑折町 ・大玉村 ・郡山市 ・須賀川市 ・田村市 ・白河市 ・石川町 ・玉川村 ・平田村 ・古殿町 ・三春町 ・小野町 ・矢吹町 ・矢祭町 ・塙町 ・鮫川村 ・会津若松市 ・喜多方市 ・北塩原村 ・磐梯町 ・昭和村 ・下郷町 ・只見町 ・南会津町 ・相馬市 ・南相馬市 ・広野町 ・楡葉町 ・富岡町 ・川内村 ・大熊町 ・双葉町 ・浪江町 ・葛尾村 ・新地町

(7) 寄附及び物品等の寄贈

ア 寄附金 8件 960,500円

イ 物品等 64件

※主な寄贈品 ・防災倉庫 ・土のう袋 ・サーキュレーター ・高圧洗浄機
・スポーツドリンク ・タオル など

15 令和6年能登半島地震における取り組み

(1) 活動内容

ア 職員等の派遣

現地確認及び支援物資の提供等として

期 間	派遣先	派遣職員等
1月18日から 20日まで	能登町社会福祉協議会 珠洲市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局長兼生活支援課長 篠原 洋貴 ・ 生活支援課主事 渡辺 康弘 ・ 災害支援ネットワーク Iwaki 会長 馬目 一浩 ・ 災害支援ネットワーク Iwaki 会員 加藤 正淳
2月22日から 27日まで	輪島市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活支援課主事 高橋 達郎

イ 災害ボランティア活動プロジェクト会議委員(支援P)として

期 間	派遣先	派遣職員
1月20日から25日まで 2月22日から27日まで 3月19日から24日まで	輪島市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局長兼生活支援課長 篠原 洋貴

(2) 物資等の提供

ア 温泉入浴車輛の貸与

貸与先 能登町社会福祉協議会

期 間 令和6年1月19日から3月31日まで

貸与台数 1台

※令和6年5月末時点で、貸与期間を延長中

イ 支援物資

届け先 珠洲市社会福祉協議会

輪島市社会福祉協議会

能登町社会福祉協議会

提供物資 水及びスポーツドリンク、衛生用品、乾電池等

(3) ボランティア活動保険の助成

本市から能登半島地震被災地でのボランティア活動者に対する保険料を助成

助成人数 14人

助成金額 7,000円(天災・地震補償プラン@500円)

(4) 義援金の募集

いわき市共同募金委員会及び各分会において義援金の取りまとめや、回覧による周知、募金箱の設置、街頭募金を行った。

ア 義援金実績

(令和6年3月31日現在)

送金先	金額	寄付団体・個人数
石川県	398,041円	7団体・6名
富山県	11,000円	1団体
福井県	11,000円	1団体
新潟県	11,000円	1団体
中央共同募金会	274,488円	12団体・4名
合計	705,529円	22団体・10名

イ 街頭募金実績

送金先	金額	実施場所
石川県	1,336,216円	金刀比羅神社例大祭 (常磐分会)

ウ 支援金実績

送金先	金額	寄付団体
中央共同募金会	78,000円	1団体

基本目標1 共に生きる社会をつくるために

基本計画1-1 本人の意思の尊重

基本計画1-2 子ども・子育て支援の充実

実施項目／実施内容

備考

○ **子育てサロン事業**

子育て中の方々が子育てに関する情報交換や悩みの共有化を図り、孤立・不安・競争の子育てから、協働・安心・信頼の子育てができるよう、地域の民生児童委員や主任児童委員、ボランティア等と連携し、子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりや出会いの場づくりができる子育てサロンの拡充強化に努めた。

地区別実施状況

地区名	実施箇所	実施回数	延べ参加組数	内容
平	6	60	230	季節行事や自由遊び、情報交換等
小名浜	1	28	239	〃
勿来	1	11	131	〃
常磐	1	9	105	〃
内郷	1	7	35	〃
四倉	1	9	22	〃
遠野	1	11	75	〃
小川	2	10	36	〃
好間	1	9	88	〃
三和	1	6	27	〃
田人	1	10	95	〃
久之浜・大久	1	12	34	〃
合計	18	182	1,117	

(令和4年度 123回/670組)

成果

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けが5類となったこともあり、参加者が増加した。

子育て中の親子が気軽に集い交流し、子育ての不安や悩み等を話し合うことにより、安心して子育てができるよう環境づくりに努めるとともに、子育てコンシェルジュの参加協力を得て、子育て支援関連の情報提供も行った。

○ **子育てサロン歳末支援事業の推進**

歳末たすけあい運動の一環として、各地区協議会主催の子育てサロンで行うクリスマス会の活動に対し、その経費の一部を助成することにより、子育て親子が明るく元気に新年を迎えられるよう支援した。

・事業実績 419名（令和4年度 343名）

成果

各地区協議会で実施している子育てサロンへの参加が促進され、参加者からは喜びの声が聞かれた。

○ **地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば）※市受託事業**

親子のふれあいと、父母等、子ども同士が気軽に交流できる場とするとともに、子育てに関する悩みや不安等の相談に応じ、市内の子育て支援関連の情報提供などに努めた。

・年間利用者数

大人	子ども	合計	育児などに関する相談件数
3,134名	3,248名	6,382名	153件

（令和4年度 4,359名／相談件数 128件）

成果

子育て中の親等からの相談に応じ、子育てに関する助言を行うとともに、市内の子育て支援関連の情報提供をすることができた。

○ **生活困窮者生活サポート事業（改編）**

再掲
P.14
～16

○ **産前・産後ヘルパー派遣事業 ※市受託事業**

出産後の養育についての支援が必要な妊婦及び保護者並びに養育が必要な児童に対し、ホームヘルパーを派遣する産前・産後ヘルパー派遣事業を実地することにより、妊娠、出産、育児期における育児不安の解消や心身の不調による育児不安の軽減並びに児童の適切な養育環境の確保を図った。

(1) **事業対象者**

市内に居住し、在宅生活をしている者であって、次の各号に掲げる者のうち、ホームヘルパーの派遣を行うことが、適当であると市長が認めた者

ア 出産後の養育について出産前に支援を行うことが特に必要と認められる妊婦

イ 出産後の家庭訪問その他の手段により把握した保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童及び保護者

ウ 保護者に監護させることが不相当であると認められる児童及び保護者

(2) 支援内容

- ア 食事の準備、後片づけ・衣類の洗濯、補修 ・居室等の清掃、整理整頓・買い物
- イ その他必要と認められる育児、家事援助

(2) 利用状況

- ア 相談のみ件数 2件（令和4年度 1件）
- イ 利用件数 14件（令和4年度 10件）

成果

サービス利用者数はわずかに増加、サービス終了後も障がい福祉サービスで利用するケースもあり、継続した支援につながっている。

基本計画1-3 高齢者福祉の充実

実施項目／実施内容		備考																				
○ 住民支え合い事業		再掲 P.4																				
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業		再掲 P.2 ～3																				
○ つどいの場創出支援事業（改編） ※市受託事業		再掲 P.5																				
○ いわき・ふれあい・ふくし塾運営事業 ※市受託事業	<p>温かい思いやりとふれあいに支えられた福祉のまちづくりを推進するため、できるだけ多くの市民が福祉に関心を持ち、福祉の心を育み、共に福祉のまちづくりに参加していただけることを目指して開塾した。</p> <p>(1) 実施場所 いわき市社会福祉センター</p> <table border="1"><thead><tr><th>回数</th><th>開催日</th><th>講義内容</th><th>出席人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>令和5年 10月21日</td><td>「ボランティアをやってみよう」 いわき声の奉仕グループ 会長 藤谷 美由記 氏 福祉レクリエーションネットワーク ふくしま in いわき 会長 七海 多美子 氏</td><td>7名</td></tr><tr><td>2</td><td>11月29日</td><td>「高齢者疑似体験」 社会福祉法人 明生会</td><td>4名</td></tr><tr><td>3</td><td>12月26日</td><td>「発達障がいを理解しよう」 社会福祉法人 みどりのかぜ</td><td>4名</td></tr><tr><td>4</td><td>令和6年 1月24日</td><td>「子ども・子育て支援について」 いわき市こどもみらい課</td><td>3名</td></tr></tbody></table>	回数	開催日	講義内容	出席人数	1	令和5年 10月21日	「ボランティアをやってみよう」 いわき声の奉仕グループ 会長 藤谷 美由記 氏 福祉レクリエーションネットワーク ふくしま in いわき 会長 七海 多美子 氏	7名	2	11月29日	「高齢者疑似体験」 社会福祉法人 明生会	4名	3	12月26日	「発達障がいを理解しよう」 社会福祉法人 みどりのかぜ	4名	4	令和6年 1月24日	「子ども・子育て支援について」 いわき市こどもみらい課	3名	
回数	開催日	講義内容	出席人数																			
1	令和5年 10月21日	「ボランティアをやってみよう」 いわき声の奉仕グループ 会長 藤谷 美由記 氏 福祉レクリエーションネットワーク ふくしま in いわき 会長 七海 多美子 氏	7名																			
2	11月29日	「高齢者疑似体験」 社会福祉法人 明生会	4名																			
3	12月26日	「発達障がいを理解しよう」 社会福祉法人 みどりのかぜ	4名																			
4	令和6年 1月24日	「子ども・子育て支援について」 いわき市こどもみらい課	3名																			

* ボランティア体験実績 *

回数	開催日	ボランティア体験先	活動内容	参加人数
1	令和5年 11月4日	グリーンバード	いわき駅周辺のゴミ拾い	4名
2	11月18日	グリーンバード	内郷駅周辺のゴミ拾い	4名
3	11月21日	常磐地区協議会	子育てサロン運営の手伝い	2名
4	12月19日	常磐地区協議会	子育てサロン（クリスマス会）運営の手伝い	1名
5	12月25日	いわき市老人クラブ 連合会	シルバーフェア2023 高齢者創作展の作品返却、 片付け等	2名

成果

地域には様々なボランティア活動があり、講義やボランティア体験を通して、ボランティアの大切さや楽しさを学ぶことができたという声があり、地域活動の担い手養成の一翼を担うことができた。

○ **各種事業の開催（介護予防教室・介護技術講座等）**

高齢者の介護が課題となっているなか、介護の問題を社会全体で支えるという視点に立ち、地域住民に対する介護の啓発や介護に関する知識と技術の普及を図るとともに、高齢者を地域で支える活動に資するため開催。

1 介護講座

○小名浜地区

<1回目>

開催日 令和5年11月10日

場 所 岡小名集会所

参加者 24名

<2回目>

開催日 令和6年3月11日

場 所 上釜戸集会所

参加者 20名

○好間地区（新規）

開催日 令和6年2月27日

場 所 好間公民館

参加者 30名

○三和地区

開催日 令和5年7月19日

場 所 三和ふれあい館

参加者 24名

○久之浜・大久地区

開催日 令和6年2月20日

場 所 久之浜・大久ふれあい館

参加者 15名

2 介護予防講座

○勿来地区

男の料理教室

開催日 令和6年2月20日、3月5日

場 所 錦公民館

参加者 延38名

○常磐地区（新規）

開催日 令和5年12月、令和6年1月、2月の連続した3ヶ月間

場 所 下船尾集会所、磐崎公民館、常磐公民館

内 容 健康体操、ストレッチ体操、若返り体操

講 師 市民講師 3名

参加者 延べ43名

○小川地区

介護予防健康体操教室

開催日 令和5年8月30日

場 所 小川地域活性化センター

参加者 12名

○好間地区

介護予防教室

開催日 令和6年3月13日

場 所 好間公民館

参加者 46名

成果

参加者同士の交流を深めながら運動機能を高める健康体操を実施し、参加者は継続して運動を行う必要性を学ぶことができた。

また、介護の知識や技術を学ぶことで、不安や疑問を解消することができた。

3 高齢者ふれあいの集いの開催

○常磐地区

湯〜らり温泉めぐり事業

開催日 令和5年9月から令和6年3月までの第3・4水曜日（12月・1月は休み）
計10回

場 所 吹の湯、新つた、古滝屋、パームスプリング

参加者 217名

○田人地区

高齢者ふれあいの集い

開催日 令和5年10月25日

場 所 田人ふれあい館内運動場

参加者 84名

○川前地区

地域高齢者交流事業

開催日 令和5年4月から令和6年3月まで 計10回

場 所 川前公民館

参加者 延べ110名

○久之浜・大久地区

高齢者ふれあいの集い

開催日 令和5年10月18日

場 所 久之浜・大久ふれあい館

参加者 50名

○内郷・四倉地区

高齢者ふれあいの集いを予定したが、新型コロナウイルスの影響により中止

成果

体力向上や心身の安定を図ることができ、参加者同士では顔なじみの関係が築けたことにより、生きがいづくりや、生活の活発化につなげることができた。

○ 住居環境整備・補修等サービス事業の実施

歳末たすけあい運動の一環として、援護を必要とする低所得の在宅高齢者単身世帯を対象に、障子張りサービスを提供し、明るくフレッシュな気持ちで新年を迎えられるよう支援するとともに、シルバー人材センターに業務を発注することにより高齢者の雇用創出にも寄与した。

・事業実績 10件（令和4年度 15件）

成果

新しい障子により明るくリフレッシュな気持ちで新年を迎えることができ、ひとり暮らし高齢者の心のケアにつながった。

○ **介護用防水シート給付事業の推進**

歳末たすけあい運動の一環として、常時寝たきりの状態にある在宅高齢者世帯等に対し、民生児童委員の協力のもとに介護用防水シートを給付し、在宅での生活や介護を支援した。

・給付人数 100名（令和4年度 126名）

成果

給付により、介護者の負担軽減が図られた。

○ **青少年福祉体験学習事業****1 高齢者疑似体験**

加齢にともなう身体的機能と心理的な変化が、日常生活にもたらすさまざまな影響を体験的に理解する機会を提供するため、児童・生徒や地域住民等を対象に高齢者疑似体験セットを無料で貸し出し、高齢者福祉に対する関心と理解の促進に努めた。

・貸出件数 体験セット 27件 368セット（令和4年度 28件 333セット）
車椅子 10件 25台（令和4年度 6件 15台）

2 福祉体験プログラム（福祉講話、手話体験、点字体験）**<福祉講話>**

地区	学校名	開催日	参加人数
平	平第一小学校	令和5年 9月 5日	62名
常磐	磐崎中学校	9月 1日	110名
常磐	湯本第一中学校	2月 11日	87名

<手話体験>

地区	学校名	開催日	参加人数
平	赤井小学校	令和5年 9月 15日	47名
	平第一小学校	9月 13日	62名
	中央台南中学校	9月 28日	131名
	夏井小学校	令和6年 2月 20日	7名
小名浜	玉川中学校	令和5年 7月 6日	68名
	鹿島小学校	9月 13日	35名
	小名浜第一小学校	9月 19日	47名
	小名浜第三小学校	9月 21日	71名
	小名浜東小学校	10月 3日	78名
	小名浜第二小学校	11月 28日	80名

地区	学校名	開催日	参加人数
勿来	錦中学校	令和5年9月15日	72名
	勿来高校	11月21日	5名
	植田小学校	令和6年1月25日	80名
常磐	藤原小学校	令和5年6月6日	27名
	磐崎中学校	9月1日	110名
	湯本第一中学校	9月11日	87名
内郷	御厩小学校	6月5日	49名
	高坂小学校	7月12日	69名
四倉	四倉小学校	5月25日	54名
	大浦小学校	10月11日	39名
小川	小玉小学校	11月28日	24名
	小川小学校	令和6年2月1日	33名
好間	好間第一小学校	令和5年6月23日	72名
久之浜・大久	久之浜第一小学校	9月8日	26名
	久之浜中学校	令和6年2月14日	24名

成果

車いすや高齢者疑似体験セットを学校や地域住民等に貸し出すことにより、福祉教育の充実強化と福祉意識の醸成を図ることができた。

また、手話や点字に触れることで、障がいがある方への理解が深まった。

○ サマーショートボランティアスクール事業

第32回サマーショートボランティアスクールの実施

高校生を対象に、夏休みの期間を利用し市内の福祉施設等で3日間ボランティア体験を行い、今後のボランティア活動への積極的な参加を促すことを目的に実施した。

- ・開校式 令和5年7月25日
- ・場所 いわき市社会福祉センター 5階大会議室
- ・内容 ①事例発表 同世代が取り組むボランティア活動
(福島県立勿来高等学校)
②受入施設オリエンテーション
- ・活動期間 令和5年7月25日から8月22日まで
- ・参加学校数 13校
- ・参加生徒数 44名
- ・協力施設数 25施設

成果

高校生に、ボランティア活動を通して、ボランティアの意義や、人とかかわることの楽しさ等を学び、今後のボランティア活動に積極的な参加を促すことに繋がった。

○ **福祉人材センター協力指定事業 ※県社協受託事業**

地域住民に福祉サービスについての啓発を行うとともに、福祉マンパワーの確保対策の推進を図った。

・ 福島県福祉人材センターが実施する事業についての協力・支援の実施

社会福祉施設への就労を希望する者（学生を含む）に対し、福祉の職場、職種等についての相談会をいわき市社会福祉センターにおいて、毎月第2水曜日（午前10時30分から午後2時30分まで）に開催。

・ 福祉人材センター求職登録の受付及び相談 16件（令和4年度 15件）

・ 福祉の職場合同就職説明会（年1回）への協力

成果

福祉の仕事に係る広報活動、情報提供を行うことによって、福祉分野への理解や関心を深め、人材不足である福祉の職場への人材の確保に努めた。

また、県社協人材センター開催による、合同就職説明会では、特に若年層が考える働く目的について聞き取りをしたほか、福祉分野への関心を持ってもらえるよう働きかけを行った。

○ **介護保険事業**

1 居宅介護支援事業

介護保険制度において、多様なサービス提供主体（事業者）による各種の介護サービスが総合的、一体的、効率的に提供されるよう、利用者側のサービス選択を基本に、高齢者とその家族を支援することを目的に実施。

<利用者状況>

利用者延数 1,327名（令和4年度 1,674名）

成果

特定事業所加算事業所としての要件を満たしつつ、利用者のサービス選択を重視し、偏りのないサービス計画により、利用者及び介護者や家族を支援した。

2 施設訪問調査事業の実施

いわき市内における施設入所者の要介護認定更新に係る調査、及びいわき市外からの委託による施設入所者・在宅生活者の要介護認定更新に係る調査の実施。

・ 調査件数 115件（いわき市分：93件 いわき市以外分：22件）

〔令和4年度 15件（いわき市分：0件 いわき市以外分：15件）〕

成果

コロナ禍で認定期間の1年延長が令和4年度で終了になったことに伴い、調査件数が増加したため、訪問調査事業の円滑な対応に努めた。

関係
資料
P.104

関係資料
P.104

○ 訪問介護事業

介護保険制度で要介護と認定された高齢者等を対象に、契約に基づきホームヘルパーを派遣し、生活支援や身体介護などのサービスを提供。

<訪問介護サービス事業利用状況>

対象者 (介護保険認定者)	実施回数 (回)				利用者延数 (名)
	生活援助	身体生活	身体介護	合計	
	2,081	296	584	2,961	364

(令和4年度 3,827回 414名)

成果

ホームヘルパーの人員確保が困難な状況にあるなか、特定事業所加算事業所の継続や研修によるホームヘルパーの質の維持向上に努め、積極的に他事業所が参入しない中山間部や困難ケースへの対応に努めた。

関係資料
P.104

○ 訪問入浴介護事業

介護保険制度で要介護と判定された高齢者等を対象に、契約に基づきホームヘルパーを派遣し、特殊浴槽と温泉利用による入浴の介護や身体の介護などのサービスを提供。

<訪問入浴サービス事業利用状況>

対象者 (介護保険認定者)	実施回数 (回)			利用者延数 (名)
	入浴	清拭	合計	
	1,619	22	1,641	383

(令和4年度 1,854回 462名)

成果

看護師や介護人材の確保に努めサービスの希薄な中山間地域、医療依存度が高い利用者や末期癌ターミナルの利用者へのサービス提供など、利用者のニーズに対応しながら事業の効率化を図り、質の高いサービスの確保と提供に努めた。

関係資料
P.104

○ 予防訪問介護事業

介護保険制度における予防給付として、要支援1及び要支援2と判定された高齢者等の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づきホームヘルパーを派遣して、家事や入浴、排泄支援などの介護予防サービスを提供。

対象者 (介護保険認定者)	実施回数 (回)	利用者延数 (名)
	928	187

(令和4年度 1,150回 221名)

成果

サービス提供の制限とヘルパーの減少という厳しい状況のなかで、質の高いサービスの確保と提供に努めた。

○ 予防訪問入浴介護事業

介護保険制度における新予防給付として、要支援1及び要支援2と判定された高齢者の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づきホームヘルパーを派遣して、特殊浴槽と温泉利用による入浴の介護や身体の介護などの介護予防サービスを提供。

対象者 (介護保険認定者)	実施回数(回)			利用者延数 (名)
	入浴	清拭	合計	
	0	0	0	0

(令和4年度：0回 0名)

○ ケア会議への参画

1 中地域ケア会議への参画

介護保険制度に基づき、地区保健福祉センターで設置している「中地域ケア会議」へ参画し、関係機関・団体の連携により、高齢者・障がい者・子どもなどが地域で暮らし続ける上での日常的な医療・介護・子育てなどを中心とした諸課題の解決に向けて協議した。

地区名	実施日
平	令和5年 8月 9日
	令和6年 3月 6日
小名浜	令和5年 7月 26日
	令和6年 2月 2日
勿来・田人	令和5年 8月 25日
常磐・遠野	令和5年 6月 22日
	11月 30日
内郷・好間・三和	令和5年 8月 3日
	令和6年 3月 7日
三和	令和5年 12月 19日
四倉・久之浜大久	令和5年 6月 15日
	令和6年 3月 7日
小川・川前	令和5年 7月 20日
	9月 29日 (書面開催)
	令和6年 2月 29日

2 地域ケア会議への参画

地域ケア会議(地域包括支援センター主催)に積極的に参画し、高齢者を地域で支えるための体制づくりに努めた。

<小地域ケア会議>

地区名	実施日
平（赤井地区）	令和5年 6月 1日 9月 7日
平（第3方部）	令和5年 9月 5日 11月 7日 令和6年 2月 20日
平（中神谷地区）	令和5年 12月 7日
小名浜（泉地区）	令和5年 6月 6日 令和6年 3月 19日
勿来（根小屋・中岡地区）	令和5年 7月 27日 令和6年 1月 27日 3月 2日
常磐（上ノ台地区）	令和5年 6月 7日
常磐（関船地区）	7月 13日
常磐（釜ノ前地区）	9月 10日
久之浜（筒木原地区）	6月 13日
久之浜（大久地区）	12月 2日

<個別ケア会議>

地区名	実施日
勿来	令和5年 8月 23日
遠野	6月 30日
遠野	8月 9日
好間	令和6年 3月 15日
久之浜・大久	令和5年 10月 13日

<ネットワーク会議>

地区名	会議名	実施日
川前	高齢者等支援ネットワーク連絡会役員会	令和5年 5月 29日
	高齢者等支援ネットワーク連絡会総会	6月 9日
	高齢者等支援ネットワーク連絡会検討会	12月 2日

成果

地域包括支援センターや関係機関との協働により、高齢者の生活実態や生活支援ニーズを把握することができたことから、今後も課題等を分析しながら課題解決に向け取り組んでいく。

基本計画 1-4 障がい者福祉の充実

実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ いわき・ふれあい・ふくし塾事業 ※市受託事業	再掲 P.33
○ 青少年福祉体験学習事業	再掲 P.37 ～38
○ サマーショートボランティアスクール事業	再掲 P.38
○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート）※県社協受託事業	再掲 P.19
○ 成年後見（法人後見）事業	再掲 P.17 ～18

○ 車椅子同乗移送用自動車貸出事業

自力で歩行が困難な高齢者や障がい者等に、車椅子のまま同乗できる移送車両を無料で貸し出し、通院や福祉サービスの利用、社会参加や生きがいづくり、さらにはリフレッシュを図る等の外出を支援した。（平地区 2 台、勿来地区 1 台の合計 3 台車両を配置）

(1) 貸出状況

	R 5 年度 (A)	R 4 年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
平地区車両	247 (92)	154 (71)	93 (21)
勿来地区車両	108 (59)	98 (57)	10 (2)
合 計	355 (151)	252 (128)	103 (23)

* () は、貸出のうち 2 日間の利用件数

地区別利用件数

地 区	R 5 年度 (A)	R 4 年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
平	92	69	23
小名浜	64	22	42
勿 来	76	69	7

地 区	R 5年度 (A)	R 4年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
常 磐	15	1	14
内 郷	28	24	4
四 倉	24	21	3
遠 野	1	0	1
小 川	6	2	4
好 間	9	6	3
三 和	0	12	△12
田 人	15	21	△6
川 前	5	1	4
久之浜・大久	20	4	16
合 計	355	252	103

成果

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、通院やレジャー等での活用が急激に増え、高齢者や障がい者等の社会参加や生きがいに寄与することができた。

○ **車椅子貸出事業の実施**

自力で歩行が困難な高齢者や障がい者等に、車椅子を無料で貸し出し、通院や福祉サービスの利用、社会参加や生きがいに、さらにはリフレッシュのための外出等、日常生活を支援した。

〈貸出状況〉

・貸出件数 148件（令和4年度 79件）

成果

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、通院やレジャー等での活用が急激に増え、高齢者や障がい者等の社会参加や生きがいに寄与することができた。

また、ケガ等に伴い、一時的な使用で日常生活を送る上での一助になった。

○ **介護保険事業**

再掲
P.39
～41

○ **障がい福祉サービス事業（指定居宅介護事業）**

介護を要する在宅の障がい者世帯へホームヘルパーを派遣し、障がい者の生活機能の維持・向上を図るため、契約に基づき家事や入浴排泄支援など居宅介護サービスを提供。

関係
資料
P.104

<居宅介護サービス事業利用状況>

対象者 (障がい支援区分認定者)	実施回数 (回)			利用者延数 (名)
	生活援助	身体介護	合計	
	320	122	442	72

(令和4年度：736回/133名)

成果

他事業所の参入が少ないことや困難ケースが多いなかで、利用者・実施回数ともに若干の減少があったものの身体介護サービスが増加傾向にあることから、今後も質の高いサービスの確保と提供に努めていきたい。

○ **身体障がい者訪問入浴サービス事業**

入浴に介護を要する在宅の障がい者世帯へホームヘルパーを派遣し、温泉利用による入浴介護や部分清拭などサービスを提供。

関係資料
P.104

対象者 (65歳未満の身体障がい者等)	実施回数 (回)			利用者延数 (名)
	入浴	清拭	合計	
	445	2	447	80

(令和4年度：587回/86名)

成果

コロナ禍によりサービスを控える利用者が増えたことにより、利用者・実施回数が減少したが、利用者ニーズの対応の変化に併せたサービスの提供と確保に努めていきたい。

○ **当事者団体活動助成事業 (市盲人福祉協会・市腎臓病患者友の会)**

当事者団体が実施する事業を支援し、団体の円滑な運営と当事者の福祉向上を図ることを目的に助成金を支出した。

・助成金の支出

支援団体 2団体 (令和4年度 2団体)

配分総額 70,000円 (令和4年度 70,000円)

成果

当事者団体を支援することにより、団体の円滑な運営と当事者の福祉向上を図ることができた。

○ **小規模障がい者施設支援事業の実施**

歳末たすけあい運動の一環として、いわき市内の小規模障がい(児)者通所施設が行うクリスマス会等に対し、給食費等の一部を助成することにより、施設利用者が明るく元気に新年を迎えられるよう支援した。

・事業実績 57施設 1,673名 (令和4年度 57施設 1,563名)

成果

歳末時期の障がい者福祉の一環として推進が図られた。

基本計画 1-5 生活困窮者対策の充実（所得、就労、住居など）

実施項目／実施内容							備考	
○ 住民支え合い事業							再掲 P.4	
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業							再掲 P.2 ～3	
○ 福祉総合相談事業 地域住民の日常生活におけるさまざまな問題やニーズに対し、助言・指導や専門機関への紹介等を行い、地域住民の生活不安等の問題解決や福祉の増進に努めた。							関係 資料 P.101 ～ 102	
1 相談状況								
開設相談	開設 延日数	利用者			相 談 件 数	処理状況		
		男	女	計（名）		処理区分		件
○福祉総合相談	243	1,066	847	1,913	1,913	解決		1,391
						継続		394
						紹介		118
						その他		10
○法律相談	12	30	41	71	71	/		
○ボランティア相談	243	/	/	/	93			
○日常生活自立支援 事業相談（あんし んサポート）	243				2,787			
合 計					4,864			
（令和4年度：6,792件）								
<p>成果</p> <p>複合的な困りごとを抱えているケースや、生活に困窮しているケースなどの相談の割合が多く、生活就労支援センターや地区保健福祉センター等の関係機関と連携を図りながら適切な支援を行った。</p> <p>また、高齢や障がいを背景に抱える相談者も多く、丁寧な傾聴に努めることで相談者の心の安定に繋がった。</p>								
○ 生活困窮者生活サポート事業（改竄）							再掲 P.14 ～16	
○ 児童養護施設歳末支援事業 市内の児童養護施設（いわき育英舎）の子どもたちへ、一般家庭と同様に「お年玉」を支給するとともに、高校を卒業し、就職または進学する子どもたちへ、就職支度費及び進学支度費として、新生活に必要なものを購入するための就職・進学準備金としてお祝金を支給した。								

(1) 支給金額

ア お年玉

対象者	支給金額	人数	合計金額
幼児	2,000円	6(3)	12,000円(6,000円)
小学生	3,000円	10(12)	30,000円(36,000円)
中学生	5,000円	10(8)	50,000円(40,000円)
高校・専修学校等	5,000円	9(11)	45,000円(55,000円)
合計		35(34)	137,000円(137,000円)

イ お祝い金(就職・進学準備金)

対象者	支給金額	人数	合計金額
就職・進学予定者	50,000円	2(4)	100,000円(200,000円)

* () は、前年度の実績

ウ 年越し費用(令和5年度より実施)

対象者	支給金額	人数	合計金額
全入所者	1,000円	35	35,000円

成果

お年玉を配布することによって、日本の習慣に触れる機会となり、普段購入できないものを購入できる喜びを味わい、明るい気持ちでお正月を迎えることができた。また、新社会人等に就職等準備金を支給することによって、就職や進学に必要なスーツ等へ活用することが、一人立ちへの助長となった。

さらに、年越し費用の支給により、普段食べられないような夜食を提供することができ、入所者同士が楽しく団らんしながら新たな年を迎えることができた。

○ 七五三お祝い支援事業

生活に困窮する世帯の子どもたちを対象に、子ども成長を祝う日本の伝統行事である「七五三お祝い」に触れる機会の確保と子どもたちが心豊かに、健全に育っていくための一助になることを目的に iwaki ヘアメイクアカデミー等の協力を得て実施した。

- ・開催日 令和5年12月2日(土)
- ・場所 飯野八幡宮
- ・内容 「学校法人 iwaki ヘアメイクアカデミー」講師及び学生の協力により着付け・ヘアメイクを行う。飯野八幡宮内で写真館を運営している「nenrin」の協力により写真撮影を行い、アルバム作成し記念品として贈呈する。飯野八幡宮にてご祈禱を行う。

<p>・参加人数 6名</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生活困窮者生活サポート事業利用世帯 1世帯4名 ② 児童養護施設いわき育英舎入所児童 2名 <p>成果</p> <p>日本の伝統文化である着物を着用し、伝統行事に触れる機会を確保することができ、子どもの健全な育成の一助につながった。</p> <p>また、iwakiへアメイクアカデミー、nenrin、飯野八幡宮と協働により実施したことで、福祉関係以外の業種との連携を深めることができた。</p>	
<p>○ クリスマス支援事業</p> <p>18歳以下の子どもがいる生活困窮世帯を対象に生活状況の把握と子どもの健全な育成の一助となることを目的に、歳末たすけあい募金の配分事業として、クリスマスケーキとプレゼント（お菓子）の配布と生活状況の把握を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和5年12月22日（金）・25日（月） ・配布実績 24世帯 子ども59人 <ul style="list-style-type: none"> ① 生活困窮者生活サポート事業 利用世帯 16世帯・子ども38名 ② 子どもの学習環境整備事業 利用世帯 2世帯・子ども4名 ③ NPOいわきふれあいサポート 支援世帯 1世帯・子ども1名 ④ 市支援対象児童等見守り強化事業 利用世帯 5世帯・子ども16名 <p>成果</p> <p>経済的な理由からクリスマスケーキを諦めていた世帯もあり、家族で楽しい思い出を作ることができ、子どもの健全な育成の一助につながった。</p>	
<p>○ 親子ふれあいバスハイク事業</p> <p>生活に困窮する世帯の子どもたちを対象に、親や祖父母と季節感のある余暇活動を楽しむ機会と子どもたちが心豊かに、健全に育っていくための一助となることを目的に、歳末たすけあい募金の配分事業として実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和6年1月28日（日） ・場 所 福島県いわき海浜自然の家・アグリパークいわき観光いちご園 ・参加人数 6世帯 18名 <ul style="list-style-type: none"> ① 生活困窮者生活サポート事業 利用世帯 4世帯12名 ② 市支援対象児童等見守り強化事業 利用世帯 2世帯6名 <p>成果</p> <p>経済的な理由から家族旅行の経験が乏しい世帯に対し、親子での交流を深める機会となり、子どもの健全な育成の一助につながった。</p> <p>また、日頃の親子の関わり方をみることで、家庭内の様子を知るきっかけとなった。</p>	
<p>○ 生活・就労支援センター運営事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.11 ～13</p>

○ 重層的支援体制整備事業における多機関協働事業 ※市受託事業

再掲
P.22
～
23

○ 生活資金貸付事業

低所得世帯であって、一時的に生活費・医療費・修学費、その他これらに準ずる経費に困窮する世帯に対し、経済的自立の助長あるいはその世帯の生活安定を図るための資金貸付を行った。

1 生活資金貸付状況

- ・貸付決定件数 164件（令和4年度 157件）
- ・貸付決定総額 3,161,500円（令和4年度 2,543,800円）

<内訳>

取扱地区	貸付決定 件数 (件)	貸付決定総額 (円)	取扱地区	貸付決定 件数 (件)	貸付決定総額 (円)
平	81	1,272,000	小川	0	0
小名浜	19	335,000	好間	5	80,000
勿来	24	473,500	三和	0	0
常磐	22	645,000	田人	0	0
内郷	8	165,000	川前	0	0
四倉	3	60,000	久之浜・大久	2	131,000
遠野	0	0	合計	164	3,161,500

成果

生活保護受給までの生活費や生活福祉資金決定までのつなぎなど、緊急一時的な支援を行うことができた。また、令和5年度においては、過去（特にコロナ特例）の生活福祉資金の滞納により生活福祉資金を利用できない世帯の相談が多く、本事業で貸付を行うことで生活の一助となったほか、あわせて滞納返済の相談支援も行うことができた。

○ 生活福祉資金貸付事業 ※県社協受託事業

低所得世帯・高齢者世帯・身体障がい者世帯の経済的自立及び生活意欲の助長並びに社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるようにすることを目的に低利で資金を貸し付けるとともに、民生児童委員による必要な援助・指導を行った。

1 生活福祉資金貸付状況

- ・貸付決定件数 53件（令和4年度 76件）
- ・貸付決定総額 12,271,000円（令和4年度 17,476,000円）

関係
資料
P.
103

<p>成果</p> <p>生活困窮者が抱える複合的な問題に対し、生活・就労支援センターや各地区保健福祉センター、民生児童委員等と連携を図りながら、多面的な支援を行うことができた。</p> <p>また、困りごとを抱えていても自覚がない、または、課題を自ら整理し、適切な相談機関へ相談することが出来ない方などの潜在化しているニーズを拾い上げ、根本的な生活の立て直しに向けた支援につなげるため、コロナ特例生活福祉資金の借受人に対し戸別訪問を行い、現状の把握・相談支援等に努めた。</p>	
<p>○ 法外援護事業の実施</p> <p>行路人に対し、いわき市から市外に転出するまでの旅費（交通費）と食糧等を支給。</p> <p>・令和5年度支給実績 15件、10,500円（令和4年度：7件、5,200円）</p> <p>成果</p> <p>旅費と一時的な食糧等を支給することにより、市外へ転出するための一助となった。</p>	
<p>○ 生活困窮世帯見舞金配分事業の推進</p> <p>歳末たすけあい運動の一環として、在宅の生活困窮世帯（生活保護世帯を除く。）が、新たな年を迎えることができるよう支援することを目的に、歳末見舞金を支給した。</p> <p>・給付実績 460世帯 920名 5,980,000円 （令和4年度 478世帯 1,002名 6,352,000円）</p> <p>* 給付額：1世帯10,000円を基本とし、家族が1人増えるごとに3,000円を加算。</p> <p>成果</p> <p>民生児童委員が友愛訪問を兼ねて見舞金を支給することで、生活困窮世帯が抱えるさまざまな相談も受けるところができ、対象世帯の心のケアが図られた。</p>	<p>関係資料 P.100</p>
<p>基本計画1-6 社会的孤立対策の充実（自殺、ひきこもり、犯罪者の社会復帰）</p>	
<p>実施項目／実施内容</p>	<p>備考</p>
<p>○ 住民支え合い事業</p>	<p>再掲 P.4</p>
<p>○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.2 ～3</p>
<p>○ 各種事業の開催（地域の居場所づくり等）</p> <p>○ 勿来地区 地域の居場所づくり（子どものための料理教室／こども食堂） 開催日 毎月、第3金曜日 年12回 共催 勿来地区ボランティア連絡会 場所 勿来公民館</p>	

<p>参加者 参加親子 延べ44世帯 91名 ボランティア 延べ104名</p> <p>内容 カレー作り、季節の料理・デザート作り</p> <p>協力 家庭相談員・民生児童委員・一般ボランティア</p> <p>成果 子どもたちやその親を対象に定期的に開催することで、見守りや生活支援、自立の助長につながった。また、勿来地区ボランティア連絡会等、関係機関との連携も図ることができた。</p>	
○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業	再掲 P.5
○ 子育てサロン事業	再掲 P.31
○ 生活支援相談員等配置事業（改編）※県社協受託事業	再掲 P.21
○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば） ※市受託事業	再掲 P.32
基本計画1-7 多文化との共生	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ いわき・ふれあい・ふくし塾事業 ※市受託事業	再掲 P.33
○ 青少年福祉体験学習事業	再掲 P.37 ～38
○ サマーショートボランティアスクール事業	再掲 P.38

基本目標2 支え合い、誰もが安心できる地域をつくるために

基本計画2-1 福祉意識の醸成

実施項目／実施内容	備考
-----------	----

○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ いわき・ふれあい・ふくし塾事業 ※市受託事業	再掲 P.33
<p>○ 各種事業の開催（ボランティア活動育成・世代間交流等）</p> <p>1 ボランティア活動育成</p> <p>ボランティア活動を推進するための講座を開催し、地域福祉の推進に必要なボランティアの強化を図った。</p> <p>○平地区</p> <p>学生×福祉教育で考える「ふくし」</p> <p>開催日 令和5年6月から令和5年12月まで</p> <p>内 容 地域の子育て支援について考える</p> <p>参加者 東日本国際大学生 12名</p> <p>○勿来地区</p> <p>高校生のためのボランティア講座</p> <p>開催日 令和5年7月7日、9月1日</p> <p>場 所 勿来工業高校</p> <p>内 容 高齢者疑似体験、車椅子体験、高齢者疑似体験と車椅子体験を通して災害時の避難について考える、フレイル予防について</p> <p>参加者 15名</p> <p>○内郷地区</p> <p>ボランティア講座</p> <p>開催日 令和5年8月3日</p> <p>場 所 いわき総合高校</p> <p>内 容 認知症ステップアップ講座</p> <p>参加者 17名</p> <p>ボランティア養成講座（新規）</p> <p>開催日 令和5年7月22日</p> <p>場 所 総合保健福祉センター</p> <p>内 容 ボランティアとは～住民支え合い活動づくり事業について</p> <p>参加者 12名</p>	

○四倉地区

ボランティア育成講座

開催日 令和6年3月8日

場 所 四倉商工会館

内 容 災害ボランティアセンターの取り組みについて

参加者 24名

○小川地区

ボランティア講座（全5回）

1 開催日 令和5年6月22日

場 所 小川支所

内 容 自然災害に備える防災講話

講 師 藁谷 俊史 氏

参加者 14名

2 開催日 令和5年7月25日

場 所 小川支所

内 容 熱中症予防講座

講 師 小川分遣所救急救命士

参加者 7名

3 開催日 令和5年12月7日

場 所 福岡多目的集会所

内 容 健康講話

講 師 作山 和子 氏

参加者 7名

4 開催日 令和6年1月23日

場 所 福岡多目的集会所

内 容 健康講話

講 師 七海 多美子 氏

参加者 9名

5 開催日 令和6年2月8日

場 所 小川地域活性化センター

内 容 健康講話、体操

講 師 小川・川前地区保健福祉センター健康係3名

岸本 恵美子 氏

参加者 8名

○好間地区

ボランティア講座

開催日 令和6年2月14日

場 所 好間公民館

内 容 「聴き方」傾聴について講話と実践練習

講 師 いわき市傾聴ボランティア「みみ」 代表 梅井 真治 氏

参加者 18名

地区団体ネットワークづくり交流会（新規）

開催日 令和6年2月20日

場 所 好間公民館

内 容 ネットワークづくりについて、地域課題、福祉課題等について

講 師 災害支援ネットワーク Iwaki 会長 馬目 一浩 氏

参加者 14名

○三和地区

ボランティア講座

開催日 令和5年11月15日

場 所 三和ふれあい館

内 容 「知って欲しいな！ヤングケアラーのこと」

講 師 市子どもみらい部こども家庭課家庭支援係

主任心理判定員 山縣 美幸 氏

虐待専門相談員 金丸 真衣氏

参加者 20名

○田人地区

ボランティアの養成

開催日 令和5年10月19日

場 所 田人支所 会議室

内 容 「介護保険について」

講 師 市保健福祉部介護保険課介護保険係 係長 鈴木 雅人 氏

参加者 30名

○久之浜・大久地区

ボランティア研修会

開催日 令和6年1月24日
場 所 久之浜・大久ふれあい館 講堂
内 容 「知ってほしいな！ヤングケアラーのこと」
講 師 市子どもみらい部こども家庭課家庭支援係
主任心理支援員 猪狩 美幸 氏
虐待専門相談員 金丸 真衣 氏

参加者 20名

※児童福祉スクールを予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

成果

各種講座の開催により、認知症への理解や、子どもの権利について学ぶことができた。また、ボランティア活動に対する興味や参加へのきっかけづくりにつながった。

2 世代間交流事業

児童と高齢者との交流の場を提供し、子どもたちの福祉の心を育むとともに、高齢者の生きがいづくりを目的として開催した。

○常磐地区

世代間交流事業

開催日 令和6年1月28日
場 所 常磐公民館
内 容 昔遊び（お手玉・けん玉）
講 師 市民講師 1名
参加者 24名

○内郷地区

防火 de ふれあう

開催日 令和5年11月12日
場 所 内郷消防署
内 容 防火啓発活動・友愛訪問
参加者 40名

○四倉地区

地域交流事業（全2回）

- 1 開催日 令和5年12月27日
場 所 四倉公民館
内 容 おやこもちつき大会
参加者 児童他70名

2 開催日 令和6年1月27日
場 所 四倉公民館
内 容 意見発表会
参加者 児童他50名

○遠野地区

多世代交流事業

開催日 令和5年12月6日
場 所 上遠野公民館
内 容 クリスマス会
参加者 33名

○三和地区

敬老交流会

開催日 令和5年11月2日
場 所 三和小・中学校
内 容 昔遊び・わら細工
参加者 18名

ふれあい交流会

開催日 令和5年12月13日
場 所 渡戸公民館
内 容 域・世代間などの交流
参加者 2名

○田人地区

まなびの里田人交流事業（新規）

開催日 令和5年11月30日
場 所 田人小・中学校 体育館
内 容 田人地区老人クラブ連合会と田人地区内の子どもたちとの交流
参加者 94名

○川前地区

青少年福祉体験学習

開催日 令和5年12月8日
場 所 桶売中学校
内 容 正月飾りを教わりひとり暮らし高齢者へ配布
参加者 12名

○久之浜大久地区

ひとりぐらし高齢者招待事業

開催日 令和5年11月3日

場 所 久之浜・大久ふれあい館

内 容 閉じこもりにならないよう公民館祭へお楽しみ券で招待し、
地域の方との交流

参加者 172名

成果

地域性を活かし、世代間の交流を図り、青少年の福祉意識の醸成と、高齢者の健康増進につなげることができた。

○ 青少年福祉体験学習事業

再掲
P.37
～38

○ サマーショートボランティアスクール事業

再掲
P.38

○ いわき市総合社会福祉大会の開催

市内の保健・医療・福祉・教育等の関係機関・団体及び一般市民が一堂に会し、広く福祉問題を考え、本市の社会福祉を総合的に高めていくことを目的に開催した。

<第49回いわき市総合社会福祉大会>

開催日	令和5年11月22日	
開催場所	いわき芸術文化交流館 アリオス	
記念講演	演題：わたしのヤングケアラー～障がいのある両親の元に生まれて～ 講師：美容師/Hair Dresser TiCA オーナー 高橋 美江 氏	
参加者数	753名	
表彰等	1 市長感謝状贈呈	4名
	2 大会会長表彰状贈呈	71名/1団体
	3 大会会長感謝状贈呈	8名/4団体
	合計	83名/5団体

(令和4年度：106名/3団体)

(開催までの経過)

- ・令和5年8月2日 第49回いわき市総合社会福祉大会 事務局会議 (社会福祉センター)
- ・令和5年9月4日 第49回いわき市総合社会福祉大会 運営委員会 (社会福祉センター)
- ・令和5年11月14日 第49回いわき市総合社会福祉大会 合同職員会議
(社会福祉センター)

成果

保健・医療・福祉に従事する方の功績を表彰することにより、担い手一人ひとりの意欲を維持・向上するとともに、記念講演を実施することにより、福祉に関する幅広い知識を習得し、関係者の資質向上を図った。

○ **各種大会への参加**

各種大会等に役職員が参加し、他団体からの参加者との交流や情報交換等を通じて、地域福祉活動の推進に努めた。

- ・令和5年11月15日 令和5年度全国社会福祉大会（浅草公会堂）参加者1名
- ・令和5年11月17日 第77回福島県社会福祉大会（パルセいいざか）参加者9名

成果

福祉に関する幅広い知識を習得し、本会役職員の資質向上を図った。また、市総合社会福祉大会に係る運営の参考とした。

○ **広報紙の発行**

社会福祉協議会の取り組みへの理解と協力をいただくために、いわき市社協だよりを発行した。

各地区協議会においても広報紙を発行し、情報提供と理解の促進に努めた。

なお、編集にあたっては、役員と職員からなる広報委員会を設置し、より分かりやすく、親しみやすい構成に努めた。

1 いわき市社協だよりの発行

- ・発行部数：115,000部
- ・発行状況：令和5年 7月20日 いわき市社協だより第147号
 9月20日 " 第148号
 令和6年 1月20日 " 第149号
 4月20日 " 第150号

2 地区協議会だよりの発行

地 区	発行部数	地 区	発行部数
平	35,700	小 川	2,600
小名浜	24,500	好 間	4,400
勿 来	15,600	三 和	1,300
常 磐	12,000	田 人	700
内 郷	10,000	川 前	500
四 倉	5,200	久之浜・大久	1,750
遠 野	1,600	合 計	115,850

<p>成果</p> <p>広報紙を用いての事業紹介や報告等、広く市民に向けて情報を提供することにより、活動への参加や事業への協力を得ることができ、情報発信の重要な役割を担うことができた。</p>	
<p>○ ホームページ及びフェイスブック等による情報発信</p> <p>本会の事業等の情報をホームページ及び Facebook に掲載し、情報提供に努めた。</p> <p>成果</p> <p>タイムリーな情報更新に努め、本会事業の情報発信および事業周知ができた。</p>	
<p>基本計画 2-2 地域福祉の担い手づくり</p>	
<p>実施項目／実施内容</p>	<p>備考</p>
<p>○ 住民支え合い事業</p>	<p>再掲 P.4</p>
<p>○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.2 ～3</p>
<p>○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業</p>	<p>再掲 P.5</p>
<p>○ 各種事業の開催（ボランティア活動育成・住民支え合い活動連絡会等）</p> <p>1 ボランティア活動育成</p> <p>○常磐地区</p> <p>情報交換会（福祉推進委等視察研修と同時開催）</p> <p>開催日 令和6年3月7日</p> <p>場 所 （福）育成会「いわき学園」、「いわき光成園」 NPO 法人 なこそ授産所「就労支援きらきら みそ工房」</p> <p>内 容 地区内の社会資源の共有を図った</p> <p>参加者 19名</p> <p>2 住民支え合い活動連絡会等</p> <p>○勿来地区</p> <p>ボランティア活動育成事業</p> <p>開催日 令和6年2月9日</p> <p>場 所 勿来支所</p> <p>内 容 住民支え合い(第3層協議体)実施地区及び新規立ち上げ地区意見交換会</p> <p>参加者 第3層協議体地区及び新規立ち上げ地区代表者 10名</p>	

○遠野地区

地域・支え合い研修会（新規）

開催日 令和6年2月7日

場 所 入遠野公民館

内 容 地域で活躍する団体等の活動報告、消費者被害等についての研修

講 師 常磐・遠野地区包括支援センター 徳永 早耶 氏、飯土井 友梨佳 氏

参加者 11名

成果

各法人の理念や取り組みを知ることができ、地域活動の充実・展開に向けた対応を考える機会となった。また、地区内の社会資源の把握や3層協議体の実施状況の意見交換をすることで、情報の共有が図られた。

○ 福祉職場での実習生の受け入れ及び連絡調整

福祉の職場実習先として、本市出身の社会福祉専門職を目指す大学生を積極的に受け入れるとともに、他の福祉職場での実習に関する連絡調整を行い、社会福祉を担う人材の育成・支援に努めた。

	受入期間	備考
ソーシャルワーク実習	令和5年8月1日	東日本国際大学（1名）
社会福祉援助技術実習	～9月8日	東北福祉大学（1名）
ソーシャルワーク実習Ⅱ		国際医療福祉大学（1名）
	合計	3校（3名）

*令和4年度：2校（3名）

成果

実習生の受け入れを行うことにより、実際の現場を肌で感じてもらいながら専門職としての価値規範、専門的知識や経験等を学んでもらうなど、これからの福祉を担っていく人材の育成に貢献することができた。

○ 各種福祉講座等へ職員を講師として派遣

保健福祉行政に新たに携わる職員向け講座の講師として職員を派遣し、社会福祉を担う人材の育成・支援に努めた。

令和 5年8月29日	いわき市基礎手話講習会（サン・アビリティーズ）
令和 6年1月22日	保健福祉行政新任者研修（いわき市役所）
1月29日	保健福祉行政新任者研修（いわき市役所）
2月6日	第4回いわき市登録防災士スキルアップ研修（いわき市役所）
3月6日	令和5年度静岡県下災害ボランティア本部（センター）運営 向上事業 第3回市町社協災害ボランティア担当者人材育成 研修（静岡市葵区札の辻クロスホール）
3月15日	公益財団法人いわき青年会議所 2024年3月例会 （市文化センター）

○ 青少年福祉体験学習事業	再掲 P.37 ～38
○ サマーショートボランティアスクール事業	再掲 P.38
○ 広報紙の発行	再掲 P.58
基本計画 2-3 福祉ボランティア活動などの推進	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ 各種事業の開催（ボランティア活動育成・ボランティア連絡会等） 1 ボランティア活動育成 2 ボランティア連絡会等 ○小名浜地区 ボランティア連絡会を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
○ 青少年福祉体験学習事業	再掲 P.37 ～38
○ サマーショートボランティアスクール事業	再掲 P.38
○ 福祉活動支援バス借上げ助成事業の実施 市内で活動する福祉団体及びボランティア団体等が、バスを借上げて各種研修会や大会等に参加するのを支援するとともに、地域福祉の向上に寄与することを目的に、バス借上げ費用の一部を助成している。 ・助成団体数 9団体（令和4年度 7団体） ・助成金 285,000円（令和4年度 210,000円） ※助成は年1回。バス借上げ経費の50％・3万円上限。1泊以上の場合は5万円上限。 成果 本事業を活用することで、各種団体が研修会等へ参加する一助につながった。	

○ いわき市ボランティア連絡協議会の活動の支援

ボランティア団体の充実強化やボランティア活動の振興を図る目的で組織された「いわき市ボランティア連絡協議会」が取り組む活動を支援した。

- 令和5年 4月22日 ボランティア連絡協議会定期総会
- 9月30日 いわき市ボランティア団体交流会
- 令和6年 2月17日 いわき市内ボランティア団体活動紹介&交流会

成果

ボランティア連絡協議会と連携することにより、本市のボランティア活動の発展につなげることができた。

また、ボランティア団体交流会では、多数の団体が参加し、互いの活動内容を確認し、市民に対してもいわき市のボランティア活動を活性化する機会となった。

○ いわき市老人クラブ連合会の活動の支援

「いわき市老人クラブ連合会」の事務局を担い、高齢者作品展と芸能祭、さらには、各単位老人クラブが実施する一人暮らし高齢者への友愛訪問など、高齢者の社会参加や生きがいづくり、健康増進を図ることを目的に実施するさまざまな活動を支援した。

- 令和5年 7月5日 第5回いわき市シルバー歌謡祭 第1回実行委員会
- 8月1日 浜通り地区ふれあいニューススポーツ交流大会（県主催）
- 8月9日 シルバーフェア2023 第1回実行委員会
- 9月13日 高齢者の健康料理教室（県主催）
- 10月25日 第5回いわき市シルバー歌謡祭
- 11月15日 第17回シルバーランド・ゴルフ交流大会 第1回実行委員会
- 11月8日 シルバーフェア2023 芸能祭（中止）
- 12月13日 第17回シルバーランド・ゴルフ交流大会
- 12月21日 シルバーフェア2023 創作展（～24日）

成果

老人クラブ会員が中心となり、地域で活動している65歳以上の高齢者とともに、社会参加や生きがいづくり、健康増進を図ることができた。

○ 広報紙の発行

再掲
P.58

○ ボランティア活動センター運営事業

(1) ボランティア相談・登録の状況

- ニーズ受付件数 34件（令和4年度 24件）
- マッチング件数 16件（令和4年度 4件）
- 新規個人ボランティア登録数 25名（令和5年3月末登録者数 121名）

新規団体ボランティア登録数 3 団体（令和 5 年 3 月末登録団体数 114 団体）

成果

施設や団体からの相談が増え、地域住民や施設等からのボランティアの依頼に応じ、地域活動に貢献することができた。

○ **ボランティア保険の加入促進**

市民が安心して、継続的にボランティア活動ができるよう、ボランティア活動中のさまざまな事故による負傷などへの備えや、活動先からの賠償責任を求められたときに補償する、全国社会福祉協議会ボランティア活動保険などへの加入を促進した。

1 ボランティア活動保険

プラン	保険料（掛金）	加入者数
基本プラン	350 円	1,887 名
天災・地震保障プラン	500 円	176 名
特定感染症重点プラン	550 円	371 名
合 計		2,434 名

（令和 4 年度：2,175 名）

2 ボランティア行幸用保険

- ・ 加入申込み件数 29 件／2,272 名（令和 4 年度 21 件／1,924 名）

成果

安全に活動できるよう保険加入の促進に努めた。

また、住民支え合い活動に取り組む支え合いサポーターに対しては、本会の助成により、特定感染症重点プランの加入を行い、安心して活動ができるよう体制構築を図った。

○ **ボランティアルームの貸し出し**

ボランティア相互の情報交換や交流の場、さらには活動拠点として、ボランティア団体を対象にボランティアルーム等を無料で提供しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、用途目的に応じた貸出となった。

ボランティアルームの貸出（令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで）

提供場所	いわき市社会福祉センター 1 階	利用件数	利用者数
利用時間	午前 9 時から午後 9 時	219 件	1,085 名
利用料	無料（要予約）		

（令和 4 年度：169 件／763 名）

- ・団体事務室の貸 250 件 (令和 4 年度 : 223 件)
- ・録音室の貸出 391 件 (令和 4 年度 : 382 件)
※利用者数 898 名 (令和 4 年度 : 801 名)
- ・コピー機の提供 402 件 (令和 4 年度 : 339 件)
- ・ロッカーの貸出 14 台 (18 台中)

成果

多くのボランティア団体が、ボランティア相互の情報交換や交流の場として活用を図ることができた。

また、活動の活発化により資料の作成などコピー機の利用も増加した。

○ 災害ボランティアセンターの常設運営

平成 29 年 4 月から、災害ボランティアセンターを常設体制に切り替え、本市内外の大規模災害の対応や復興支援に関するボランティア活動の支援・調整等に取り組んできた。

また、9 月に発生した台風第 13 号による大雨災害時の災害ボランティアセンターの閉所後も被災者向けのサロン活動をボランティア団体協力により実施。

1 被災地災害ボランティアセンターへの職員派遣

秋田県豪雨水害による被災地災害ボランティアセンターの運営支援に災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(事務局:中央共同募金会)及び福島県社会福祉協議会からの要請を受け職員(各 1 名)を秋田県秋田市へ派遣を行った。

- ・派遣期間 令和 5 年 7 月 28 日から 30 日まで
令和 5 年 8 月 19 日から 23 日まで

2 復興支援

令和 5 年 9 月の大雨災害の被害が大きかった内郷地区を中心に災害支援ネットワーク Iwaki の協力を得て、サロンや講習会を実施し、地域コミュニティづくりに努めている。

成果

他地域での災害ボランティアセンターへ職員を派遣するとともに策定した災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づき、市及び災害時相互協定によるいわき青年会議所や災害支援団体等と共に災害ボランティアセンターを運営した。また、被災地住民に寄り添い、復興支援に努めた。

○ 災害見舞金配分事業

火災、水害等の罹災者に対し、福島県共同募金会より配分を受けて見舞金の支給を行った。

地区名	災害内容件数（件）				配分額（円）
	火災	床上浸水	その他	合計（件）	
平	12	0	0	13	115,000
小名浜	5	0	0	4	60,000
勿来	2	0	0	2	20,000
常磐	3	0	0	3	40,000
内郷	4	0	0	4	30,000
三和	2	0	0	2	30,000
合計	28	0	0	28	295,000

（令和4年度：4件／35,000円）

*見舞金の額は罹災者1世帯当たり10,000円（半焼、床上浸水は5,000円）、死亡者1名につき10,000円を加算。

○ **ボランティア基金の運営（ボランティア活動助成事業）**

福祉活動に関わる地域住民・民間団体の自主的で継続的なボランティア活動の推進を図ること等を目的として、ボランティア活動助成を行った。

1 **募集期間** 令和5年4月1日から4月21日まで
5月16日から11月30日まで（追加申請期間）

2 **ボランティア基金運営委員会の開催**

開催日 令和5年5月9日

場 所 いわき市社会福祉センター

内 容 (1) 令和4年度いわき市ボランティア活動助成金申請・配分結果について
(2) 令和5年度いわき市ボランティア活動助成金配分について

3 **ボランティア活動助成状況**

助成団体 11団体（令和4年度 12団体）

助成総額 2,128,300円（令和4年度 1,869,000円）

成果

助成金の活用によりボランティア活動の活性化が図られ地域福祉の増進につながった。

○ **民間資金等の活用によるボランティア団体の活動支援**

民間の公益補助団体等がボランティアの育成支援を目的に実施する活動資金助成事業について情報提供するとともに、申請手続きの支援等を通じてボランティア団体等の活動を支援した。

<助成金の名称>

(1) 公益財団法人 大和証券福祉財団「2023年度（第30回）ボランティア活動助成」

(2) 公益財団法人 みずほ教育福祉財団

「第40回老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」

- (3) 一般財団法人 福島民報教育福祉事業団「第33回民報福祉・文化奨励金」
- (4) 公益財団法人 福島県総合社会福祉基金「助成事業・貸付事業」
- (5) 公益財団法人 SOMPO 福祉財団「住民参加型福祉活動資金助成」
- (6) 公益財団法人 ヤマト福祉財団「ヤマト福祉財団助成金」
- (7) 公益財団法人 ユニバーサル財団「2023年度ユニバーサル財団特定助成」
- (8) 社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団「わかば基金」
- (9) 認定NPO法人 ふくしまNPOネットワークセンター
「2023年度ふくしま元気活動助成金」
- (10) 公益財団法人 大同生命厚生事業団 2023年度「ボランティア活動助成」

成果

登録ボランティア団体等への情報提供により、活動支援の強化が図られた。

○ 赤い羽根共同募金運動の推進

社会福祉施設や社会福祉団体等が行う民間社会福祉事業を財源面から支える赤い羽根共同募金を推進するとともに、通年型募金箱の設置箇所の開拓や街頭募金・職域募金等の拡充強化を図り、募金実績の増強に努めた。

<推進期間> 令和5年10月1日から令和6年3月31日まで

<募金額> 44,497,314円（令和4年度実績額：46,800,642円）

（内 訳）

	募金額
1 戸別募金	36,770,781円
2 街頭募金	149,712円
3 法人募金	3,808,248円
4 学校募金	2,121,167円
5 職域募金	1,273,841円
6 イベント募金	118,573円
7 個人募金	48,070円
8 その他の募金	206,922円
合計	44,497,314円

*街頭募金実施箇所 平・小名浜・常磐・四倉・好間分会

*イベント募金実施箇所 常磐・四倉・遠野・小川・三和・久之浜・大久分会

成果

街頭募金・イベント募金の実施できた箇所もあったが、令和5年台風第13号豪雨災害の影響を受け、募金実績額が前年度より減少となったが、社会福祉施設や社会福祉団体等が行う民間社会福祉事業を財源面から支える赤い羽根共同募金としての役割を果たすことができた。

○ **歳末たすけあい運動の推進**

支援を必要としている人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉・在宅福祉サービス事業を重点的に展開していくため、新たな年を迎える時期に、地域住民やボランティア、民生児童委員、社会福祉施設、さらには関係機関や団体等の協力のもと「歳末たすけあい募金活動」を実施した。

<募金納入額> 23,276,647円（令和4年度：24,510,897円）

<配分状況>

	配分数	配分額
1 在宅見舞金配分	460世帯	5,980,000円
2 地域福祉事業配分		8,074,046円
合計		14,054,046円

（令和4年度：13,832,180円）

成果

市民への歳末たすけあい募金運動の周知と理解が得られた。

基本計画2-4 見守り支援体制の整備

実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ つどいの場創出支援事業 ※市受託事業	再掲 P.5
○ 各種事業の開催（高齢者友愛訪問・夕食宅配サービス等） 福祉推進委員・民生児童委員の協力を得て、地区内のひとり暮らし高齢者宅等を訪問し、安否確認や心配事等に対応していくとともに、地域の支えあいを目的として実施した。	

○遠野地区

在宅支援友愛訪問

開催日 令和5年12月9日
場所 遠野管内
対象世帯 130世帯
内容 シクラメンの鉢植えをプレゼント
協力者 28名(福祉推進員、民生児童委員)

○小川地区

高齢者いきいき訪問事業

開催日 令和5年7月21日
場所 小川管内
対象世帯 243世帯
内容 熱中症予防の呼びかけと世帯の把握
協力者 23名(幹事3名、民生児童委員20名)

ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

開催日 令和6年2月16日
場所 小川管内
対象世帯 170世帯
内容 心配ごと相談、話し相手、交通安全・防犯・悪質商法対策の情報提供
協力者 24名(幹事4名、民生児童委員20名)

○三和地区

ふれあい配食サービス事業(新規)

開催日 令和5年12月9日
場所 三和管内
対象世帯 14世帯
内容 三和町ふれあい市場「かあちゃん弁当」を宅配
協力者 7名(民生児童委員)

○田人地区

熱中症予防対策事業

開催日 令和5年8月17日
場所 田人管内
対象人数 346名(延べ)
内容 スポーツドリンクを届けながら脱水症予防の声掛け・安否確認の実施
協力者 17名(民生児童委員)

○田人地区

にこにこ配食サービス事業

開催日 令和5年12月9日及び11月16日

場所 田人管内

対象人数 346人名(延べ)

内容 お弁当の配食・安否確認の実施

協力者 17名(民生児童委員)

○川前地区

歳末たすけあい友愛訪問

開催日 令和5年11月15日

場所 川前管内

対象世帯 66名

内容 シクラメン花鉢配布・安否確認の実施

協力者 10名(福祉推進員、民生児童委員)

○久之浜・大久地区

夕食宅配サービス事業

開催日 令和5年12月9日

場所 久之浜・大久地区内

対象者 172名

内容 温かいお弁当を手渡ししながら、安否確認と相談活動

協力者 17名(民生児童委員)

成果

他者との交流の機会をとおり、一人暮らし高齢者の孤独感の解消を図り、日頃からの見守り体制の構築につなげることができた。

○ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業の実施

いわき市老人クラブ連合会が、単位老人クラブごとに組織的に実施する「ひとり暮らし高齢者等への友愛訪問活動事業」に対し、歳末たすけあい運動の一環として助成金(400,000円)を交付し、その活動を支援した。

- ・訪問実績 311名(寝たきり高齢者 49名、ひとり暮らし高齢者 262名)
(令和4年度:303名(寝たきり高齢者 50名、ひとり暮らし高齢者 253名))

成果

地域内のひとり暮らし高齢者等を訪問活動することで、会員の拡充と高齢者が安心して暮らすための地域づくりにつなげることができた。

○ **福祉情報誌配布と見守り訪問事業の実施**

歳末たすけあい運動の一環として、緊急連絡カード（兼）救急医療情報キットを配備しているひとり暮らし高齢者等に対し、民生児童委員の協力を得て、日常生活に役立つ保健・福祉情報を盛り込んだ「健康カレンダー」を配布するとともに、見守りや相談援助活動を行い、高齢者が地域で安心して生活できるよう支援した。

- ・健康カレンダーを市内 16,000 世帯に配布

成果

高齢者が安心して暮らすための各種情報として、社協事業の紹介と併せ、いわき市・地域包括支援センター・警察署等の取り組みを紹介し、身近な相談窓口の広報周知につながった。

○ **子育てサロン事業**

再掲
P.31

○ **生活困窮者生活サポート事業（改編）**

再掲
P.14
～16

○ **地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば） ※市受託事業**

再掲
P.32

○ **緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業**

緊急連絡カード（兼）救急医療情報キットの配付を通して、ひとり暮らし高齢者世帯・避難行動要支援者名簿登録者等の見守りや、日常生活全般にわたる自立支援、事故防止等のサポート体制づくりに努めた。

<配備状況>

（単位：名）

地区名	配備者数	地区名	配備者数	地区名	配備者数
平	1,726	四倉	389	田人	334
小名浜	1,024	遠野	146	川前	97
勿来	766	小川	156	久之浜・大久	226
常磐	376	好間	394	合計	6,571
内郷	698	三和	239		

（令和4年度 6,603名）

成果

ひとり暮らし高齢者等や避難行動要支援者名簿登録者の情報を把握することができ、地域内で孤立しがちな住民の発見と見守り体制の構築につなげることができた。

また、高齢者を狙った悪質な訪問販売等の犯罪から見守ることができた。

○ **支え合い福祉マップ作成事業（新規）**

平成 28 年 4 月より「いわき市避難行動要支援者マップ作成事業」を市から受託し、これまで市内 115 地区でマップを作成し、地域住民が支え合い、支援していく仕組みの構築・強化に努めてきたが、市の事業改編に伴い令和 4 年度をもって事業終了となったことから、本会として新たに「支え合い福祉マップ作成事業」を構築し、これまで作成してきた「避難行動要支援者マップ」を基本に地域の様々な情報を加え、住民支え合い活動やつどいの場創出支援事業等の推進につなげるとともに、災害危険エリアの表示を加えることで、災害時においても有効に活用できるマップ作成を実施した。

＜令和 5 年度実績＞

地区名	実施地区	実施日	参加人数
平	平第 25 区	令和 5 年 5 月 21 日	17 名
小名浜	本谷区	令和 5 年 8 月 19 日	14 名
勿来	金山西・金山南地区	令和 6 年 2 月 18 日	8 名
遠野	上遠野 2 地区	令和 5 年 10 月 17 日	12 名
	下根本地区	令和 6 年 3 月 1 日	5 名
小川	江田・牛小川地区	令和 5 年 12 月 18 日	7 名
	高萩地区	令和 6 年 2 月 15 日	8 名
田人	貝泊地区	令和 5 年 11 月 18 日	18 名

成果

昨年度までの事業によりマップを作成してきた地域において、本事業にて対象者の情報更新を図ることによって、新たな対象者の発掘や、地域における危険箇所等の情報共有を図ることができた。

○ **生活支援相談員等配置事業（改編） ※県社協受託事業**

再掲
P.21

○ **民生児童委員協議会・行政嘱託員連合協議会との連絡会の開催**

各地区の民生児童委員協議会長と行政嘱託員連合協議会長及び地区協議会会長との連携強化を図るため、令和 5 年度の事業計画及び事業等の説明及び会員会費の加入促進に理解と協力を得るとともに意見交換を行った。

- ・開催日 令和 5 年 7 月 11 日
- ・場 所 いわき市社会福祉センター
- ・講演会 「ヤングケアラー支援について」
【講師】市こどもみらい部こども家庭課 主任心理判定員 山縣 美幸 氏
市ヤングケアラーコーディネーター 小玉 広美 氏

成果

民生児童委員協議会、行政嘱託員連合協議会と連携を図ることで、会員会費の推進強化、住民支え合い活動や要援護者の把握や見守り活動など、本会が重点事業に掲げた住民主体の支え合い活動の充実につなげることができた。

○ 民生児童委員協議会・行政嘱託員連合協議会との連携

1 民生児童委員との連携強化

情報交換や協働を通じて、地域福祉や在宅福祉を円滑に進めるよう努めた。

(1) 民生児童委員と連携する主な事業

- ア 生活福祉資金貸付事業
- イ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業
- ウ 住民支え合い活動づくり事業
- エ 住民支え合い事業
- オ つどいの場創出支援事業
- カ 共同募金関係事業
- キ 歳末配分事業
- ク 歳末配分援護世帯の調査及び見舞金の支給

(2) 地区協議会において単位民協定例会へ出席し、情報交換を行った。

- ア 社協関係事業情報提供
- イ 各種調査による情報収集

2 行政嘱託員（区長）との連携強化

さまざまな地域活動の中核として活動されている行政嘱託員・区長との連携を強化し、募金活動や地域福祉活動への協力をいただきながら、地域福祉の向上に努めた。

(1) 行政嘱託員・区長と連携する主な事業

- ア 住民支え合い活動づくり事業
- イ 住民支え合い事業
- ウ 会員会費の推進
- エ 共同募金運動の推進
- オ 社協広報紙の配布
- カ つどいの場創出支援事業

基本計画 2 - 5 虐待防止体制の充実

実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3

○ つどいの場創出支援事業（改編） ※市受託事業

○ 各種事業の実施（介護者友愛訪問・在宅介護者支援・虐待防止講座等）

日頃、寝たきり高齢者等の介護に専念されている介護者を対象に、花鉢を届けながら交流し、在宅介護者の精神安定につなげることを目的に実施した。また、子どもや高齢者、障がい者の権利を守るために必要な知識や制度についての講座も開催した。

○四倉地区

虐待防止講座

開催日 令和6年2月29日

場 所 四倉商工会館

内 容 「みんなで考えよう、児童虐待の原因と予防対策」

講 師 いわき市子どもみらい部子ども家庭課家庭支援係

主任心理判定員 山縣 美幸 氏、心理担当支援員 猪狩 美幸 氏

参加者 19名

○三和地区

介護者・ほっと一息支援事業

開催日 令和5年12月9日

場 所 三和管内

対象世帯 13世帯

内 容 友愛訪問による花鉢のプレゼント

協力者 7名（民生児童委員）

○田人地区

在宅介護者との交流事業

開催日 令和5年12月21日

場 所 田人管内

対象世帯 15世帯

内 容 友愛訪問による花鉢のプレゼント

協力者 8名（民生児童委員）

○久之浜・大久地区

在宅介護者支援事業

開催日 令和6年3月11日

場 所 久之浜・大久管内

対象世帯 16世帯

内 容 友愛訪問による慰労品のプレゼント

協力者 17名（民生児童委員）

<p>成果</p> <p>花鉢を届けることにより交流の機会が得られ、在宅介護者に寄り添い、心身の慰労につなげることができた。また、子ども虐待防止の養成講座では、虐待についての理解を深めることができた。</p>	
○ 子育てサロン事業	再掲 P.31
○ 生活困窮者生活サポート事業（改編）	再掲 P.14 ～16
○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば） ※市受託事業	再掲 P.32
○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート） ※県社協受託事業	再掲 P.19
○ 成年後見（法人後見）事業	再掲 P.17
○ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業	再掲 P.70
○ 介護保険事業	再掲 P.39 ～41
○ 産前・産後ヘルパー派遣事業 ※市受託事業	再掲 P.32 ～33
基本計画 2-6 相談・支援機関のネットワーク強化	
実施項目／実施内容	備考
○ 福祉総合相談事業	再掲 P.46
○ 子育てサロン事業	再掲 P.31
○ 地域子育て支援拠点事業（カンガルーひろば） ※市受託事業	再掲 P.32
○ 生活困窮者生活サポート事業（改編）	再掲 P.14 ～16
○ 重層的支援体制整備事業における多機関協働事業（新規） ※市受託事業	再掲 P.22 ～23
○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート） ※県社協受託事業	再掲 P.19 ～20

○ 成年後見（法人後見）事業	再掲 P.17 ～18
○ 生活支援相談員等配置事業（改編） ※県社協受託事業	再掲 P.21
○ 車椅子同乗移送用自動車貸出事業・車椅子同乗貸出事業	再掲 P.43 ～44
○ 介護保険事業	再掲 P.39 ～41
基本計画 2-7 避難行動要支援者支援制度の充実	
実施項目／実施内容	備考
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3
○ 支え合い福祉マップ作成事業	再掲 P.71
○ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業	再掲 P.70
○ 避難者行動要支援者登録の推進 「支え合い福祉マップ」の作成のための懇談会を通し、地域における要支援者の把握に努めるとともに、必要とされる方への避難行動要支援者登録について勧奨した。	
○ いわき市総合防災訓練への参画 いわき市総合防災訓練における地区別訓練へ各地区協議会職員が参画し、関係機関及び地域住民等と災害時の避難訓練を実施した。 ・いわき市総合防災訓練 開催日 令和5年7月8日 場 所 小名浜地区、遠野地区、好間地区、四倉地区 開催日 令和5年11月18日 場 所 小名浜地区、四倉地区、遠野地区、田人地区	
成果 災害時における、関係機関との連携方法や本会職員の担うべき役割等を確認することができた。	

○ 福祉避難所の支援 いわき市と福祉避難所への人材派遣に関する協定に基づき、大規模災害発生時において、福祉避難所が設置され要請があった場合は、介護等に従事する職員を派遣することとなっていることから、派遣に備えた介護等従事職員の体制を図った。		
基本計画 2-8 防犯対策の充実		
実施項目／実施内容		備考
○ 住民支え合い事業		再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業		再掲 P.2 ～3
○ 緊急連絡カード（兼）救急医療情報キット配備事業		再掲 P.70
基本計画 2-9 交通移動手段や住まいの確保		
実施項目／実施内容		備考
○ 住民支え合い事業		再掲 P.4
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業		再掲 P.2 ～3
基本計画 2-10 権利擁護・成年後見の充実		
実施項目／実施内容		備考
○ 福祉総合相談事業		再掲 P.46
○ 生活・就労支援センター運営事業 ※市受託事業		再掲 P.11 ～13
○ 重層的支援体制整備事業における多機関協働事業（新規） ※市受託事業		再掲 P.22 ～23
○ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート） ※県社協受託事業		再掲 P.19 ～20
○ 成年後見（法人後見）事業		再掲 P.17 ～18
○ 生活困窮者生活サポート事業（改編）		再掲 P.13 ～16

基本目標3 健康で自分らしい暮らしをつくるために

基本計画3-1 健康づくりの推進

実施項目／実施内容	備考																																				
○ 住民支え合い事業	再掲 P.4																																				
○ 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業	再掲 P.2 ～3																																				
○ つどいの場創出支援事業（改編） ※市受託事業	再掲 P.5																																				
○ 子育てサロン事業	再掲 P.31																																				
○ 各種事業の実施（地域健康増進活動・地域配食サービスボランティア等）																																					
<p>○ 百歳賀寿の実施</p> <p>百歳の高齢者に対し記念品を贈呈し、その長寿を祝い、あわせて市民の間に広く高齢者福祉についての関心と理解を深めるとともに、高齢者の健康の増進に努める意欲を高めた。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>居住地区</th> <th>贈呈者 (名)</th> <th>居住地区</th> <th>贈呈者 (名)</th> <th>居住地区</th> <th>贈呈者 (名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平</td> <td>25</td> <td>四倉</td> <td>7</td> <td>田人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小名浜</td> <td>27</td> <td>遠野</td> <td>3</td> <td>川前</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>勿来</td> <td>19</td> <td>小川</td> <td>3</td> <td>久之浜・大久</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>常磐</td> <td>8</td> <td>好間</td> <td>4</td> <td>合計</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>内郷</td> <td>6</td> <td>三和</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">（令和4年度：108名）</p>	居住地区	贈呈者 (名)	居住地区	贈呈者 (名)	居住地区	贈呈者 (名)	平	25	四倉	7	田人	1	小名浜	27	遠野	3	川前	0	勿来	19	小川	3	久之浜・大久	0	常磐	8	好間	4	合計	105	内郷	6	三和	2			
居住地区	贈呈者 (名)	居住地区	贈呈者 (名)	居住地区	贈呈者 (名)																																
平	25	四倉	7	田人	1																																
小名浜	27	遠野	3	川前	0																																
勿来	19	小川	3	久之浜・大久	0																																
常磐	8	好間	4	合計	105																																
内郷	6	三和	2																																		

基本計画3-2 保健医療体制の充実

実施項目／実施内容	備考
○ 介護保険事業	再掲 P.39 ～41
○ 障がい者福祉サービス事業	再掲 P.30 ～31
○ 身体障がい者訪問入浴サービス事業	再掲 P.45

○ 保健・医療・福祉関係の各種会議等への参画

<いわき市社会福祉審議会>

令和 5年 5月 24日 全体会（生涯学習プラザ）
11月 27日 第2回児童福祉専門分科会（文化センター）
令和 6年 2月 7日 第3回児童福祉専門分科会（文化センター）
3月 26日 第4回児童福祉専門分科会（文化センター）

<いわき市情報公開・個人情報保護審議会>

令和 5年 6月 27日 第1回審議会（いわき市役所）
11月 21日 第2回審議会（いわき市役所）
令和 6年 1月 15日 第3回審議会（いわき市役所）

<いわき市国民健康保険運営協議会>

令和 5年 5月 17日 第1回運営協議会（文化センター）
7月 13日 東北地方国保運営協議会代表者連絡協議会
～ 14日（アートホテル盛岡）
9月 21日 国民健康ポスター審査
11月 29日 福島県国民健康保険運営協議会総会
（ホテル福島グリーンパレス）
令和 6年 3月 13日 第2回運営協議会（文化センター）

<いわき市表彰選考委員会>

令和 5年 7月 21日 委嘱状交付式及び表彰選考委員会（いわき市役所）

<健康いわき推進会議>

令和 5年 4月 19日 第1回会議（文化センター）
10月 25日 第2回会議（書面開催）
12月 15日 第3回会議（いわき市役所）
令和 6年 2月 3日 第22回健康いわき21推進市民大会（文化センター）
2月 7日 第4回会議（書面開催）

<いわき市児童館運営委員会>

令和 5年 5月 25日 第1回運営委員会（いわき市役所）

<いわき市地域自立支援協議会>

令和 5年 6月 20日 第1回協議会（いわき市役所）
8月 24日 第2回協議会（いわき市役所）
令和 6年 1月 17日 第3回協議会（いわき市役所）
3月 21日 第4回協議会（いわき市役所）

<いわき市権利擁護支援ネットワーク推進運営委員会>

令和 5年 5月 25日 第1回委員会（文化センター）
7月 13日 第1回受任調整・個別検討部会（市総合保健福祉センター）

<奨学生選考委員会>

令和 5年 4月 19日 令和5年度選考委員会 (いわき市役所)

<いわき市社会福祉施設事業団>

令和 5年 5月 19日 第126回理事会 (市健康・福祉プラザ)

6月 20日 第127回理事会 (市健康・福祉プラザ)

令和 6年 2月 6日 第128回理事会 (市健康・福祉プラザ)

3月 21日 第129回理事会 (市健康・福祉プラザ)

<日本赤十字社福島県支部>

令和 5年 6月 13日 第1回評議員会 (日本赤十字社福島県支部)

<いわき都市圏総合都市交通推進協議会>

令和 5年 7月 24日 第9回協議会 (書面開催)

令和 6年 2月 8日 第11回協議会 (生涯学習プラザ)

<いわき市まちづくり市民会議>

令和 5年 6月 22日 第1回会議 (いわき市役所)

9月 29日 第2回会議 (いわき市役所)

<いわき市防災会議>

令和 6年 3月 22日 第1回会議 (いわき市役所)

<いわき市地域包括ケア推進会議>

令和 5年 8月 1日 委嘱状交付式及び第1回会議 (いわき市役所)

令和 6年 1月 26日 第2回会議 (文化センター)

<いわき見守りあんしんネット連絡協議会>

令和 6年 1月 24日 連絡会議 (文化センター)

<介護保険運営協議会>

令和 5年 7月 26日 第2回会議 (いわき市役所)

<いわき市要保護児童対策地域協議会>

令和 6年 3月 12日 代表者会議 (文化センター)

<要保護児童対策地域協議会実務者会議>

令和 5年 8月 1日 第1回実務者会議 (文化センター)

令和 6年 2月 6日 第2回実務者会議 (文化センター)

<いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動>

令和 5年 4月 20日 全体会議 (文化センター)

<いわき市社会を明るくする運動>

令和 5年 5月 30日 監査 (市社会福祉センター)

<いわき市障がい者職親会>

令和 5年 5月 30日 総会 (産業創造館ラトブ)

<福島県精神保健福祉協会いわき支部>

令和 5年 7月 6日 役員会 (書面開催)

8月 16日 総会 (書面開催)

<いわき市医療センター病院経営評価委員会>

令和 5年 7月 24日 第1回会議 (医療センター)

10月 30日 第2回会議 (医療センター)

令和 6年 1月 30日 第3回会議 (医療センター)

<いわき市保健医療審議会>

令和 5年 6月 29日 委嘱状交付式及び第1回会議 (市総合保健福祉センター)

令和 6年 2月 1日 第1回会議 (市総合保健福祉センター)

<いわき市脱炭素社会推進パートナーシップ会議>

令和 5年 11月 26日 第1回会議及び公表式 (イオンモールいわき小名浜)

<福島県防災会議>

令和 6年 3月 21日 第1回会議 (オンライン開催)

<県社協関係>

令和 5年 4月 24日 市町村社協連協事務局長会 会長・副会長会議
(オンライン開催)

6月 6日 福島県社会福祉協議会理事会 (県社会福祉センター)

6月 26日 福島県社会福祉協議会理事会 (書面開催)

<県社協関係>

7月 6日 市町村社協連協事務局長会 相双・いわき地区連絡会
(原町区福祉会館)

8月 3日 市町村社協連協事務局長会 会長・副会長会議
(南東北総合卸センター)

8月 8日 福島県社会福祉協議会総合企画委員会
(県社会福祉センター)

11月 8日 福島県社会福祉協議会理事会 (県社会福祉センター)

12月 18日 市町村社協連協事務局長会 相双・いわき地区連絡会
(原町区福祉会館)

令和6年 2月 9日 市町村社協連協事務局長会 会長・副会長会議
(オンライン開催)

<県社協関係> 3月 8日 福島県社会福祉協議会理事会（県社会福祉センター）		
基本計画 3-3 産業、教育など保健福祉以外の様々な分野との協働		
実施項目／実施内容		備考
<input type="radio"/> 住民支え合い事業		再掲 P.4
<input type="radio"/> 住民支え合い活動づくり事業 ※市受託事業		再掲 P.2 ～3
<input type="radio"/> つどいの場創出支援事業 ※市受託事業		再掲 P.5
<input type="radio"/> 各種事業の実施（青少年地域交流・福祉風土づくり等）		
<input type="radio"/> いわき市総合社会福祉大会の開催		再掲 57
<input type="radio"/> 各種大会への参加		再掲 P.58
<input type="radio"/> ボランティア活動センター運営事業		再掲 P.62

組織および組織運営		
1 組織体制		
実施項目／実施内容		備考
<input type="radio"/> 理事会・評議員会 令和5年 5月16日 第1回理事会（書面審議） [報告] 1 理事の退任及び補充選任について 2 事務局組織規程の改正における事業名称について [議事] 1 事務局決裁規程の改正について 2 いわき市社会福祉センター冷暖房設備・外構改修工事 設計・ 監理業務委託契約について 3 評議員会の開催について 5月31日 第1回評議員会（書面審議） [議事] 1 理事補充の選任について		

6月14日 第2回理事会

〔報告〕

- 1 職務執行状況報告について

〔議事〕

- 1 令和4年度事業報告について
- 2 令和4年度決算の承認について
(監 査 報 告)
- 3 理事・監事候補者の選任について
- 4 評議員選任候補者の推薦について
- 5 評議員選任・解任委員会の開催について
- 6 定時評議員会の開催について

6月29日 第2回評議員会

〔議事〕

- 1 令和4年度事業報告について
- 2 令和4年度決算の承認について
(監 査 報 告)
- 3 理事の選任について
- 4 監事の選任について

6月29日 第3回理事会

〔議事〕

- 1 会長、副会長及び常務理事の選定について
- 2 顧問の委嘱について

9月20日 第4回理事会

〔報告〕

- 1 職務執行状況報告について
- 2 令和6年度職員採用候補者試験の結果について
- 3 令和5年7月秋田豪雨への支援活動について
- 4 いわき市災害ボランティアセンターの設置について

〔議事〕

- 1 いわき市社会福祉センター冷暖房設備・外構改修工事請負契約
について
- 2 令和5年度資金収支補正予算について
- 3 評議員会の開催について

9月28日 第3回評議員会（書面審議）

〔報告〕

- 1 令和6年度職員採用候補者試験の結果について
- 2 令和5年7月秋田豪雨への支援活動について
- 3 いわき市災害ボランティアセンターの設置について

〔議事〕

- 1 いわき市社会福祉センター冷暖房設備・外構改修工事請負契約について
- 2 令和5年度資金収支補正予算について

12月15日 第5回理事会

〔報告〕

- 1 職務執行状況報告について
- 2 いわき市災害ボランティアセンターの対応について

〔議事〕

- 1 令和5年度資金収支補正予算について
- 2 評議員会の開催について

12月26日 第4回評議員会

〔報告〕

- 1 いわき市災害ボランティアセンターの対応について

〔議事〕

- 1 令和5年度資金収支補正予算について

令和6年 3月16日 第6回理事会

〔報告〕

- 1 職務執行状況報告について
- 2 令和6年度職員採用候補者について
- 3 ボランティア基金の運用について
- 4 令和6年能登半島地震災害における本会の取組みについて

〔議事〕

- 1 事務局組織規程の改正について
- 2 職員就業規則の改正について
- 3 職員給与規程の改正について
- 4 臨時職員就業規則の改正について
- 5 再雇用職員給与規程の改正について
- 6 嘱託職員給与規程の改正について
- 7 臨時職員給与規程の改正について
- 8 令和5年度資金収支補正予算について

<p>9 役員等賠償責任保険契約について 10 令和6年度事業計画について 11 令和6年度資金収支当初予算について 12 評議員会の開催について</p> <p>3月27日 第5回評議員会 〔報告〕 1 令和6年度職員採用候補者について 2 ボランティア基金の運用について 3 役員等賠償責任保険契約について 4 令和6年能登半島地震災害における本会の取組みについて</p> <p>〔議事〕 1 令和5年度資金収支補正予算について 2 令和6年度事業計画について 3 令和6年度資金収支当初予算について</p>	
<p>○ 監査の実施 令和 5年 6月 5日 市社協監査 監事による監査を受け、適正処理であることの承認を得る</p>	
<p>○ 各種専門委員会の実施 【評議員選任・解任委員会】 令和 5年 6月 20日 評議員の選任について</p> <p>【広報委員会】 令和 5年 6月 22日 いわき市社協だより第147号掲載内容・承認について 8月 25日 広報委員委嘱状交付 令和5年度いわき市社協だより発行計画及び作業計画について いわき市社協だより第148号掲載内容・承認について 12月 15日 いわき市社協だより第149号掲載内容・承認について 令和 6年 3月 18日 いわき市社協だより第150号掲載内容・承認について</p> <p>【衛生委員会】 令和 5年4月から令和6年3月まで（毎月開催）</p>	
<p>○ 地区幹事会・福祉推進会の実施 地区住民の福祉向上に寄与するため、地区の保健・医療・福祉・教育及び関連団体の代表者等で構成される幹事会及び福祉推進会を各地区において開催し、地域に密着した福祉活動の円滑な推進を図った。</p>	

○ 福祉推進委員等役員研修の実施

地区協議会の福祉推進委員等を対象に各種研修を行い、地域福祉活動に対する一層の理解と協力を促進した。

○平地区協議会

開催日 令和6年3月26日

場 所 いわき市社会福祉センター

内 容 研修「令和5年台風災害における社会福祉協議会の取り組み」

参加者 25名

○小名浜地区協議会

開催日 令和6年2月28日

場 所 小名浜市民会館

内 容 社協・民協合同研修会「ゲートキーパーについて」「終活について」

参加者 約60名

○小名浜地区協議会

開催日 令和6年3月18日

場 所 小名浜公民館

内 容 研修「いわき市におけるヤングケアラー等の現状について」

参加者 28名

○常磐地区協議会

開催日 令和6年3月7日

場 所 (福)育成会「いわき学園」「いわき光成園」

NPO法人 なこそ授産所「就労支援きらきら みそ工房 なこそ」

内 容 視察研修

参加者 19名

○内郷地区協議会

開催日 令和6年2月29日

場 所 総合保健福祉センター

内 容 研修「いわき市生活・就労支援センターについて」

参加者 12名

○四倉地区協議会

開催日 令和6年2月29日

場 所 四倉商工会議所

内 容 研修「みんなで考えよう、児童虐待の原因と予防策」

参加者 19名

○遠野地区協議会

開催日 令和5年10月17日

場 所 さいたま市防災センター（埼玉県さいたま市）

内 容 視察研修

参加者 17名

○小川地区協議会

開催日 令和5年9月21日

場 所 福島県危機管理センター（福島市）

内 容 視察研修

参加者 24名

○好間地区協議会

開催日 令和5年10月23日

場 所 震災遺構浪江町請戸小学校、東日本大震災・原子力災害伝承館（双葉町）

内 容 視察研修

参加者 14名

○三和地区協議会

開催日 令和5年6月21日

場 所 Jヴィレッジ（檜葉町）

内 容 視察研修

参加者 21名

○田人地区協議会

開催日 令和5年9月28日から9月29日まで

場 所 震災遺構浪江町立請戸小学校、みやぎ東日本大震災津波伝承館（宮城県）

内 容 視察研修

参加者 18名

○川前地区協議会

開催日 令和5年7月4日から7月5日まで

場 所 南押原友遊館（栃木県鹿沼市）

内 容 視察研修

参加者 16名

○久之浜・大久地区協議会

開催日 令和6年3月6日

場 所 東日本大震災・原子力災害伝承館（双葉町）

内 容 視察研修

参加者 11名

2 財源および財務運営

実施項目／実施内容

備考

○ 会員会費の推進

1 正会員及び特別会員会費の推進

全戸加入を目標として行政嘱託員の協力をいただきながらチラシの全戸配布や会費の納入のとりまとめを行うなど会員の確保に努めた。

- ・ 正会員世帯数 77,029 世帯
- ・ 納入額 38,378,810 円

関係資料
P. 105
～
106

<推進期間>

	推進地区
7月	平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前 久之浜・大久

<会費納入額>

	納入額
1 正会員会費	38,378,810 円
2 特別会員会費	1,531,000 円
合計	39,909,810 円

<令和3年度から令和5年度までの会費納入額の推移>

	R3	R4	R5	前年度増減	対前年度比
1 正会員会費	39,573,890 円	38,993,560 円	38,378,810 円	△614,750 円	98.4%
2 特別会員会費	1,486,000 円	1,502,000 円	1,531,000 円	29,000 円	101.9%
合計	41,059,890 円	40,495,560 円	39,909,810 円	△585,750 円	98.6%

2 企業会員及び団体（法人施設）会員会費の推進

新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、安全かつ効率的に実施するため、昨年度同様、原則、『振込み』による納入とした。

- ・ 企業会員数 728 企業
- ・ 納入額 8,513,477 円

<令和3年度から令和5年度までの企業会員会費納入額の推移>

	R3	R4	R5	前年度増減	対前年比
企業会員会費	8,610,000 円	8,460,000 円	8,513,477 円	53,477 円	100.6%

(1) 団体（法人施設）会員会費推進状況

加入数	納入額
66 団体	660,000 円

<令和2年度から令和4年度までの法人会員会費納入額の推移>

	R 3	R 4	R 5	前年度増減	対前年比
法人会員会費	660,000 円	640,000 円	660,000 円	20,000 円	103.1%

成果

前年度と比較すると、正会員会費が1.6%減額し、特別会員会費が1.9%、企業会員会費が0.6%、団体（法人施設）会員会費が3.1%増額している。令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことにより、経済活動の緩やかな回復基調が見られ始めたことから、新規企業数及び再加入企業数と団体（法人施設）加入数は増加に転じた。

本会の事業を展開していくうえで会員会費は必要不可欠な財源であることから、社協の事業に対する理解を得ながら、今後も継続した会費の納入と新規の加入促進に努めていく必要があり、訪問等による推進の再開も視野に入れ検討する。

○ 共同募金運動の推進

再掲
P.66
～67

○ ボランティア基金の運営

再掲
P.65

○ 職場内研修の実施

事務事業の実践能力の向上、専門性の向上、組織人としての成長が、市民サービスと組織の活性化に直結することから、職務を通じた研修やテーマごとの研修会を開催するなど、計画性と継続性をもって職員の資質向上に努めた。

<地域福祉事業関係>

令和5年	4月17日	新採用職員研修
	4月17日	職員研修（演習「文書実務」）
	4月28日	第1回生活支援コーディネーター会議
	4月28日	第1回担当者会議
	5月26日	第2回担当者会議
	6月23日	第2回生活支援コーディネーター会議
	6月23日	第3回担当者会議
	7月12日	第1回つどいの場担当者会議
	7月28日	第4回担当者会議
	8月10日	職員研修（ファシリテーション研修）
	8月25日	第5回担当者会議
	11月10日	職員会議
	12月15日	第2回つどいの場担当者会議
	12月22日	第6回担当者会議
令和6年	2月6日	いわき前橋北区社協合同職員研修会（オンライン研修）
	2月15日	第7回担当者会議
	3月22日	第8回担当者会議

<ホームヘルプセンター関係>

（毎週開催）	居宅支援事業所定例会
（毎月開催）	訪問介護事業所定例会 / 訪問入浴事業所定例会

○ 職場外研修の実施

全国・福島県社会福祉協議会、さらにはさまざまな団体等が実施する研修会や講習会等へ職員を積極的に派遣した。

<地域福祉活動事業関係>

令和5年	7月3日	市町村社会福祉協議会職員研修【新任職員編】
	～4日	（県社会福祉センター）
	7月27日	令和5年度市町村社会福祉協議会会計・経理担当者研修会 （オンライン）
令和5年	7月31日	令和5年度生活支援体制整備事業研修 基礎編
	8月1日	地域支援事業に関する研修会～わが町の事業間連携を考える （オンライン研修）

<地域福祉活動事業関係>

- 令和 5年 9月 20日 令和5年度コミュニティソーシャルワーク研修（前期課程）
令和 5年 11月 8日 令和5年度コミュニティソーシャルワーク研修（後期課程）
令和 5年 11月 8日 令和5年度生活支援体制整備事業研修 実践編
（オンライン研修）
令和 5年 12月 14日 令和5年度ケースワーカー研修1日目【2年目・3年目研修】
（市総合社会福祉センター）
令和 6年 1月 17日 令和5年度ケースワーカー研修2日目【2年目・3年目研修】
（市総合社会福祉センター）
1月 22日 令和5年度保健福祉行政新任者研修1日目（文化センター）
1月 29日 令和5年度保健福祉行政新任者研修2日目（文化センター）
2月 1日 令和5年度市町村社会福祉協議会オンラインサロン
【テーマ：有償ボランティア】（オンライン研修）
3月 16日 2023年度社会福祉士実習指導者講習会
～17日 （オンライン）

<ボランティアセンター事業関係>

- 令和5年 6月 8日 令和5年度災害ボランティアセンター運営研修【基礎編】
～ 9日 （県社会福祉センター）
6月 15日 令和5年度災害ボランティアセンター運営研修【実践編】
～16日 （県社会福祉センター）

<日常生活自立支援事業関係>

- 令和 5年 5月 9日 あんしんサポート新規担当者説明会（オンライン）
あんしんサポート第1回契約締結審査会（オンライン）
7月 11日 あんしんサポート第1回専門員・担当職員研修会
（オンライン）
あんしんサポート第2回契約締結審査会（オンライン）
10月 18日 専門員実践力強化研修Ⅰ【基本研修】（オンライン）
あんしんサポート第1回生活支援員実働者研修
（郡山会場・農業総合センター）
11月 2日 あんしんサポート第3回生活支援員実働者研修
（富岡会場・富岡町文化交流センター）
11月 14日 あんしんサポート第4回契約締結審査会（オンライン）
12月 19日 専門員実践力強化研修Ⅰ【初任者研修】（オンライン）
令和 6年 1月 16日 あんしんサポート第2回関係職員ミーティング（オンライン）
あんしんサポート第5回契約締結審査会（オンライン）
3月 12日 あんしんサポート第2回専門員・担当職員研修会
（オンライン）
あんしんサポート第6回契約締結審査会（オンライン）

<法人後見事業関係>

令和 6年 1月20日 第5期市民後見人養成講座基礎講座講師派遣
(いわき市総合保健福祉センター)

<被災者支援事業関係>

令和 5年 5月24日 福島県復興公営住宅入居者実態調査事業第1回実行委員会
第1回避難者地域支援コーディネーター連絡会議
(ピックパレットふくしま)

6月15日 市町村社会福祉協議会生活支援相談員研修会(基礎編)
(南東北総合卸センター)

6月16日 福島県復興公営住宅入居者実態調査事業説明会
(オンライン)

6月27日 市町村社会福祉協議会生活支援相談員等テーマ別研修会
(第1回)(ピックパレットふくしま)

8月 1日 第1回福島県被災者見守り・相談支援調整会議
(ホテル福島グリーンパレス)

8月21日 社協連携避難者支援センターいわき連絡会
(いわき市社会福祉センター)

9月15日 第2回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議
(いわきニュータウンセンタービル)

10月5日 市町村社会福祉協議会生活支援相談員等テーマ別研修会
(第2回)(ピックパレットふくしま)

10月24日 郡山市内復興公営住宅集会所開放視察及び意見交換会
(郡山市内復興公営住宅集会所等)

10月27日 被災者・避難者支援にかかる避難元・先民生児童委員協議会
並びに避難元・先社会福祉協議会合同情報交換会
(いわきワシントンホテル)

12月8日 第3回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議
(いわきニュータウンセンタービル)

12月20日 被災地域における災害時の包括的な連携体制に関する勉強会
(いわき産業創造会館)

令和6年 1月24日 市町村社会福祉協議会生活支援相談員等テーマ別研修会
(第3回)(Jヴィレッジ)

2月13日 いわき市復興公営住宅自治会交流会(文化センター)

2月16日 第4回いわき市内復興公営住宅見守り連携会議(文化センター)

2月29日 第2回福島県被災者見守り・相談支援調整会議
(ホテル福島グリーンパレス)

<被災者支援事業関係>

3月13日 福島県復興公営住宅入居者実態調査事業第2回実行委員会
第2回避難者地域支援コーディネーター連絡会議
(ビックパレットふくしま)

<生活福祉資金貸付事業関係>

令和 5年 6月 9日 コロナ特例貸付償還免除等に関する説明会 (オンライン)
8月 4日 生活福祉資金担当職員研修会 (第1回) (オンライン)
12月22日 生活福祉資金担当職員研修会 (第2回)
(ふくしま医療機器開発支援センター)

<福祉人材センター協力指定事業関係>

令和 5年 5月16日 第1回福祉人材センター協力指定事業担当者会議
(福島県男女共生センター)
8月19日 第1回福祉の職場 WEB 説明会及び合同就職説明会
(いわき・ら・ら・ミュウ)

<生活困窮者自立相談支援事業関係>

令和 5年 8月10日 東北フードバンク連携フォーラム (いわき産業創造館)
10月13日 令和5年度自立相談支援事業主任相談員養成研修
(オンライン)
10月27日 令和5年度自立相談支援事業就労支援員研修 (オンライン)
11月21日 令和5年度自立相談支援制度におけるブロック研修
~22日 (オンライン)
令和 6年 1月10日 令和5年度福島県青少年支援協議会いわき地区連絡会議及び
ひきこもり支援従事者養成研修 (いわき合同庁舎)
2月 8日 令和5年度市町村社会福祉協議会オンラインサロン
(オンライン)
3月 3日 令和5年度いわき市市民精神保健福祉講座大人の発達障がい
研修 (文化センター)
3月 8日 令和5年度自殺対策支援者向け研修会
(総合保健福祉センター)
3月 9日 ひきこもり講演会研修 (中央台公民館)
3月12日 福祉支援に役立つ法律の知識~法テラスを活用した支援研修
(オンライン)

<ホームヘルプセンター関係>

令和 5年 5月17日 第1回平地区介護支援専門員交流会 (オンライン)
5月24日 BCP作成研修会風水害編 (オンライン)
5月31日 福島県ヤングケアラー支援者研修会
6月22日 精神保健関係職員研修

<ホームヘルプセンター関係>

- 7月19日 BCP作成研修会地震編（オンライン）
- 9月20日 BCP作成研修会感染症編（オンライン）
- 9月28日 苦情受付担当者研修
- 10月17日 第1回居宅介護事業所連絡会
- 11月22日 第4回平地区介護支援専門員交流会
- 12月20日 福島県高次脳機能障がい圏域別連絡会議
- 令和 6年 3月 8日 第3回オンラインサロン社協に求められる介護サービスを考える
（オンライン）

住民支え合い生活支援サービス利用相談及び対応状況

地区名	相談件数 (計)	相談内容内訳 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)								実利用者数	サービス 実施件数	関係機関 等へ情報 提供・相談	登録 サポーター
		話し 相手	ゴミ 出し	片付け・ 重い物の 移動	電球 交換	買物 代行	草引き	その他					
平	8 (16)	0 (2)	1 (7)	2 (3)	0 (0)	0 (2)	5 (1)	0 (1)	4 (5)	8 (4)	2 (5)	68 (56)	
小名浜	6 (9)	1 (0)	2 (1)	0 (2)	1 (0)	0 (2)	1 (1)	1 (3)	1 (2)	1 (2)	2 (0)	44 (39)	
勿来	2 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	0 (2)	1 (3)	0 (2)	0 (7)	0 (0)	1 (2)	56 (48)	
常磐	14 (20)	1 (2)	4 (4)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (9)	5 (4)	4 (10)	7 (10)	1 (0)	32 (32)	
内郷	15 (3)	1 (0)	4 (1)	0 (1)	2 (1)	0 (0)	6 (0)	2 (0)	3 (0)	4 (0)	0 (2)	40 (40)	
四倉	14 (5)	0 (0)	6 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (2)	7 (1)	2 (1)	10 (1)	0 (0)	14 (13)	
遠野	5 (1)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (1)	1 (1)	1 (4)	3 (0)	6 (2)	
小川	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (9)	
好間	7 (13)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (1)	0 (3)	1 (0)	3 (8)	3 (3)	5 (6)	3 (4)	22 (16)	
三和	17 (0)	4 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	6 (0)	8 (1)	10 (1)	7 (0)	14 (11)	
田人	3 (3)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	2 (0)	2 (2)	2 (0)	1 (0)	4 (4)	
川前	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	
久之浜・大久	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計	93 (79)	7 (4)	25 (18)	3 (10)	7 (3)	0 (9)	22 (17)	29 (20)	28 (33)	48 (29)	20 (13)	315 (277)	

ア () は、令和4年度実績
イ 久之浜・大久地区は第3層協議体を実施主体とするため除く

住民支え合い活動実施状況（第3層協議体）

地区名	登録 サポーター	実利用者数	活動延べ件数(令和5年4月1日～令和6年3月31日)			合計	会議・ 定例会等
			見守り・ 声掛け訪問	生活支援 (買物代行・ ゴミ出し等)	サロン・ つどいの場		
平	城山地区	10 (24)	135 (162)	1 (37)	6 (0)	142 (199)	11 (9)
	鎌田地区	12 (12)	134 (164)	1 (73)	9 (8)	144 (245)	4 (1)
	六十枚区	—	—	—	—	—	5 —
小名浜	玉川町西区	20 (24)	240 (312)	122 (148)	0 (0)	362 (460)	12 (12)
	永崎地区	8 (7)	190 (216)	0 (0)	0 (0)	190 (216)	12 (12)
	玉露1・2区	41 (47)	486 (595)	6 (5)	1 (0)	493 (600)	6 (6)
	岡小名第一東区	18 (18)	137 (208)	16 (26)	20 (0)	173 (234)	0 (3)
	上神白区	28 (27)	223 (0)	12 (0)	0 (0)	235 (0)	1 (0)
勿来	南台1・2区	9 (7)	0 (0)	0 (2)	45 (38)	45 (40)	0 (0)
	関田地区	95 (79)	54 (51)	42 (40)	0 (12)	96 (103)	2 (3)
	九面地区	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (6)	0 (6)	0 (0)
	金山西・南区	62 (0)	121 (0)	0 (0)	0 (0)	121 (0)	5 (2)
	下船尾地区	22 (21)	203 (175)	0 (0)	11 (10)	214 (185)	11 (1)
常磐	上川地区	2 (5)	48 (138)	0 (0)	0 (0)	48 (138)	48 (0)
	斑堂団地自治会	6 —	9 —	1 —	0 —	10 —	1 —
	高坂9区	20 (20)	120 (105)	0 (3)	0 (1)	120 (109)	12 (11)
内郷	高野地区	19 (16)	223 (180)	0 (0)	0 (14)	223 (194)	11 (12)
	宮1区	11 (11)	32 (2)	0 (7)	3 (6)	35 (15)	3 (8)
	高坂7区	15 (10)	161 (181)	44 (62)	11 (9)	216 (252)	10 (10)
	宮12区	6 (6)	90 (1)	0 (0)	12 (8)	102 (9)	12 (8)
四倉	新町地区	37 (74)	505 (510)	47 (80)	53 (41)	605 (631)	2 (4)
	梅ヶ丘南地区	41 (39)	456 (521)	63 (83)	24 (20)	543 (624)	6 (6)
	仲町地区	17 (25)	153 (45)	12 (4)	12 (10)	177 (59)	12 (10)

地区名	登録 サポーター	実利用者数	活動延べ件数(令和5年4月1日～令和6年3月31日)			合計	会議・ 定例会等
			見守り・ 声掛け訪問	生活支援 (買物代行・ ゴミ出し等)	サロン・ つどいの場		
遠野	上根本地区	3 (8)	27 (53)	0 (0)	0 (0)	27 (53)	6 (5)
	入定地区	11 (10)	100 (75)	4 (5)	0 (0)	104 (80)	10 (9)
	東山行政区	0 (6)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	11 (0)
	下滝行政区	12 (16)	38 (14)	14 (0)	0 (0)	52 (14)	13 (0)
	関屋・落合地区	3 (2)	34 (31)	4 (2)	0 (0)	38 (33)	7 (6)
	深山田地区	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (3)
	西根地区	0 (2)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	2 (0)
	前田地区	8 (7)	80 (65)	54 (11)	0 (0)	134 (76)	9 (3)
	上遠野地区①	14 (9)	108 (131)	114 (122)	0 (0)	222 (253)	7 (4)
	上遠野地区②	0 (5)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	7 (2)
小川	入上・中野天王地区	7 (6)	42 (48)	2 (7)	0 (0)	44 (55)	5 (3)
	根岸行政区	—	—	—	—	—	5 —
	塩田地区	12 (12)	96 (101)	30 (11)	36 (40)	162 (152)	0 (0)
	山ノ入・淵沢地区	1 (8)	1 (136)	2 (10)	0 (33)	3 (179)	1 (0)
	江田・牛小川地区	20 (19)	184 (373)	24 (45)	20 (23)	228 (441)	2 (1)
	高萩地区	1 (1)	0 (0)	22 (7)	0 (0)	22 (7)	2 (1)
	田代・沼平地区	21 (21)	239 (210)	6 (30)	24 (19)	269 (259)	11 (12)
	北二区	35 (20)	349 (300)	143 (96)	24 (22)	516 (418)	12 (11)
	椎木平地区	19 (3)	77 (38)	0 (0)	11 (0)	88 (38)	11 (8)
	中好間1・2区	29 (20)	467 (169)	2 (7)	48 (14)	517 (190)	12 (7)
田人	入旅人大字区	37 (36)	249 (213)	76 (85)	11 (9)	336 (307)	4 (8)
	貝泊地区	23 (13)	356 (100)	355 (26)	0 (10)	711 (136)	6 (5)
	荷路夫地区	8 (0)	167 (0)	154 (0)	0 (9)	321 (9)	6 (5)
川前	山下谷地区	9 (8)	114 (93)	0 (3)	75 (72)	189 (168)	1 (0)
	沢尻地区	7 (9)	62 (62)	0 (11)	40 (44)	102 (117)	0 (0)
	西町1区	18 (12)	49 (111)	408 (95)	5 (36)	462 (242)	6 (6)
久之浜・大久	中町区	11 (18)	35 (84)	136 (300)	9 (9)	180 (393)	9 (10)
	東町区	4 (4)	19 (8)	6 (14)	0 (0)	25 (22)	0 (1)
合計	726 (719)	812 (747)	6,613 (5,983)	1,923 (1,460)	510 (523)	9,046 (7,966)	358 (228)

ア () は、令和4年度実績
イ 太字の地区は令和5年度新規地区

令和5年度いわき市ボランティア活動助成状況

No.	団体名/活動概要	申請事業名	助成額(円)
1	<p>勿来地区ボランティア連絡会 勿来地区においてボランティア同士の横の連携を図り、活動の輪を広げていくために必要な情報提供や啓蒙・交流とボランティアの育成などを行っている。</p>	広報活動に必要な広報紙発行事業	36,000
2	<p>いつたれボランティア会 食べきれない、使い切れない食材や調味料等の寄付を受け、それを調理し提供することで、いつでもだれもが気軽に集える場所を作るため食堂を運営する。スタッフはすべて無償のボランティアで、食事代金については救済として。</p>	コロナ禍を克服した交流・社会参加の機会の提供による居場所づくり・介護予防のための施設整備	200,000
3	<p>子育てポピークラブ 子育て不安の解消事業、親子のストレス発散の場になる事を重点としている。</p>	子育て支援のための機材及び資料代・材料代	98,000
4	<p>おひさま日本語教室 外国にルーツがある子どもたち（以下、「在日外国人等」という。）のアイデンティティを尊重しつつ、彼ら自身が自己実現するために、日常生活や強化学習に必要な日本語の習得を支援し地域社会につながる場所を提供する。また、会員と在日外国人等が相互に学び合い親睦を図り、多文化共生社会の実現に寄与することを目的としている。</p>	外国にルーツがある子どもの日本語支援活動環境整備事業	200,000
5	<p>いわき市ボランティア連絡協議会 市内のボランティア（個人・団体）の相互連携とボランティア活動の伸展に努めることを目的に、ボランティア活動に関する調査研究・連絡調整・情報収集・広報・研修などの啓発活動を行っている。</p>	①ボランティア団体交流会開催事業②広報紙発行及び送付事業	210,000
6	<p>いわき地域婦人会連絡協議会 市内の各地域婦人会との連絡と親睦協調を図るとともに、地位の向上と明るく住みよい地域社会の建設に寄与する。</p>	いわき市地域婦人会運営全般に係る事業、広報紙発行	155,000
7	<p>永橋女性の会 東日本大震災と原発事故で甚大な被害を受け、平成26年4月笑顔を取り戻したくソフト面で地元貢献するため会を発足した。県復興公営住宅「下神白団地」と市災害公営住宅「永橋団地」の方々、江名中学校・小名浜海星高校・地元住民との交流会を実施している。</p>	地元の高校、中学校、県営復興下神白団地、市営永橋団地と地元住民によるソフト面（心のケア）での復興につながる交流事業	200,000
8	<p>特定非営利活動法人 いわき緊急サポートセンター 妊娠・出産・子育てと女性の健康をサポートする地域助産師と市民ボランティアとの共同により、防災を含む日頃の子育てを楽しみ、いわきで生まれ育つ全ての子どもたちが元気で豊かに育まれる共生共創社会に貢献している。</p>	妊娠期からの家庭訪問型子育て支援ボランティアの養成及び育成	103,000
9	<p>特定非営利活動法人 いわき緊急サポートセンター 子育て相談や健康支援、ママサロンの開催や子どももの一時預かり、緊急時の対応等を実施。公的機関や他団体との連携や多世代交流広場、すくひ広場の運営をしている。</p>	病児・障がい児を含む感染症の早期発見・回復支援、回復支援、健康管理の情報提供と健康づくりの場の提供	187,000
10	<p>子育てサポーターのつどい★天使のほほえみ★ 主に乳幼児と保護者を対象とした子育て支援。</p>	リモート研修に必要な備品整備	147,000
11	<p>いわき市社会福祉協議会(ボランティア活動センター) 地域住民や民間団体の自主的、継続的なボランティア活動の育成・指導及び振興を行っている。</p>	ボランティア活動協賛加入者に対する保険料の助成。 ボランティア用品整備。	592,300
助成配分総額			2,128,300

令和5年度 社会福祉センター利用状況

令和6年3月31日現在

区分	令和5年度実績 (a)			令和4年度実績 (b)			比較増減 (a) - (b)		
	件数(件)	利用者数(人)	料金(円)	件数(件)	利用者数(人)	料金(円)	件数(件)	利用者数(人)	料金(円)
4月	10	238	6,000	6	110	6,000	4	128	0
5月	18	327	22,500	11	128	21,600	7	199	900
6月	11	188	6,000	12	235	9,000	△ 1	△ 47	△ 3,000
7月	18	377	44,450	6	64	9,000	12	313	35,450
8月	20	369	25,700	15	202	17,000	5	167	8,700
9月	13	212	43,100	7	110	6,000	6	102	37,100
10月	12	198	13,500	11	210	18,000	1	△ 12	△ 4,500
11月	9	246	91,000	7	61	12,000	2	185	79,000
12月	13	295	52,800	11	168	6,000	2	127	46,800
1月	5	90	6,000	6	110	6,000	△ 1	△ 20	0
2月	0	0	0	10	142	9,000	△ 10	△ 142	△ 9,000
3月	11	177	18,000	15	331	70,200	△ 4	△ 154	△ 52,200
計	140	2,717	329,050	117	1,871	189,800	23	846	139,250

令和5年度 福祉総合相談実績

相談所名	開設日数	相談者数	
		男	女
福祉総合相談	243	1066	847

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	合計
	生計	貸付	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童福祉・子育て	教育・青少年	障がい者(児)福祉	母子・父子福祉	老人福祉	住民支え合い	ボランティア	苦情	その他	
解決	448	796	2	11	8	15	0	1	16	8	3	1	1	5	1	5	8	22	13	5	8	14	1391
継続	38	323	3	3	0	7	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	10	2	1	0	3	394
紹介	19	5	1	6	9	6	0	2	5	5	3	1	0	1	0	6	2	31	4	4	4	4	118
その他	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	1	10
合計	505	1124	6	20	17	30	0	3	21	15	6	2	1	7	1	14	10	64	20	10	15	22	1913

令和5年度 無料法律相談実績

相談所名	開設日数	相談者数	
		男	女
無料法律相談	12	30	41

	相談内容												性別		合計							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		15	16	17	18	19	20	21
解決	2	2	0	4	6	5	0	4	1	0	5	27	5	0	0	0	0	0	0	0	1	6
継続	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紹介	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	2	0	5	7	5	0	4	1	0	5	28	5	0	0	0	0	0	0	1	6	71

令和5年度 生活福祉資金地区別取扱い状況一覧

取扱地区	貸付決定資金種類(件数・金額)										貸付決定総額(円)	
	総合支援資金		福祉資金		福祉資金(緊急小口資金)		教育支援資金		不動産担保型生活資金(要保護者向けを含む)		臨時特例つなぎ資金	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平			2	2,133,000	12	942,000	1	502,000			15	3,577,000
小名浜			2	443,000	3	220,000	5	4,489,000			10	5,152,000
勿来	2	372,000	2	308,000	8	568,000					12	1,248,000
常磐			1	500,000	5	414,000	1	355,000			7	1,269,000
内郷			2	185,000	2	120,000					4	305,000
四倉					1	40,000	1	529,000			2	569,000
遠野											0	0
小川											0	0
好間					1	20,000					1	20,000
三和											0	0
田人											0	0
川前											0	0
久之浜大久			1	81,000	1	50,000					2	131,000
合計	2	372,000	10	3,650,000	33	2,374,000	8	5,875,000	0	0	53	12,271,000

令和5年度ホームヘルプセンター事業実施状況

《介護保険事業》	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
《委託事業》													
《業務状況》													
【居宅支援】													
(1)利用者数	117	115	114	114	114	111	110	108	108	105	106	105	1,327
①要介護度1	25	25	26	25	21	21	20	18	17	15	14	13	240
②要介護度2	28	26	23	23	26	28	27	27	24	24	26	27	309
③要介護度3	17	20	20	20	22	22	18	19	21	22	21	21	241
④要介護度4	9	9	9	9	8	6	6	5	5	4	5	5	80
⑤要介護度5	3	4	3	3	3	3	5	5	7	6	6	6	54
⑥暫定													0
⑦要支援1	9	9	6	6	6	9	9	9	10	10	10	10	103
⑧要支援2	26	22	27	28	28	24	25	24	24	24	24	23	300
⑨予防暫定													0
【訪問介護】													
(1)利用者数	36	35	35	35	33	33	28	28	28	24	24	25	364
暫定													
(2)予防	17	16	16	15	16	16	15	15	16	15	15	15	187
予防暫定													0
(3)実施回数	394	383	397	383	353	374	324	284	275	212	245	265	3,889
①生活援助	211	211	219	207	205	213	190	155	137	91	118	124	2,081
②身体生活	26	30	31	34	31	33	21	19	21	18	16	16	296
③身体介護	75	65	68	66	44	41	35	31	40	35	38	46	584
(予防)	82	77	79	76	73	87	78	79	77	68	73	79	928
【障がい福祉】													
(1)利用者数(介護)	7	7	7	7	6	5	6	6	6	5	5	5	72
(2)実施回数	41	38	47	39	35	37	35	41	33	31	33	32	442
【訪問入浴】													
(1)利用者数	38	34	33	33	29	30	29	30	30	32	32	33	383
暫定													
(2)予防													0
予防暫定													
(3)実施回数	147	125	139	144	144	126	141	128	139	122	133	153	1,641
①入浴	145	124	137	143	139	124	139	128	137	122	130	151	1,619
②清拭	2	1	2	1	5	2	2	0	2	0	3	2	22
③予防入浴													0
④予防清拭													0
《委託事業》													
《業務状況》													
【訪問調査】													
(1)調査件数(市内)	9	8	8	7	8	8	8	7	8	7	6	9	93
(2)調査件数(市外)	0	1	1	2	1	2	1	3	2	3	3	3	22
【身体障がい入浴】													
(1)利用者	8	7	7	5	6	6	6	7	7	7	7	7	80
(2)実施回数	47	45	48	34	36	32	32	36	37	35	31	34	447
①入浴	47	45	47	34	35	32	32	36	37	35	31	34	445
②清拭			1										2
稼働日	20,000	20,000	22,000	20,000	22,000	20,000	21,000	20,000	21,000	19,000	18,000	20,000	243
入浴全体の稼働率	3,233	2,833	2,967	2,727	2,746	2,633	2,746	2,733	2,794	2,754	3,037	3,117	2,864
居宅 CM 専任 3 兼務(県届出 4人)													
訪問入浴 3班													
訪問介護 非ヘルパ-11・責任者3													

(1)は①～⑨の合計

令和5年度 正会員会費 / 特別会員会費地区別推進状況

令和6年3月31日現在
(単位:円)

地区名	正会員会費(A)	特別会員会費(B)	合計(C)=(A)+(B)	令和4年度実績(D)	比較増減(E)=(C)-(D)	前年度対比率(C)/(D)*100
平	10,180,700	356,000	10,536,700	10,726,990	△ 190,290	98.2%
小名浜	8,696,600	296,000	8,992,600	9,116,500	△ 123,900	98.6%
勿来	5,687,080	218,000	5,905,080	5,904,710	370	100.0%
常磐	4,103,550	26,000	4,129,550	4,222,750	△ 93,200	97.8%
内郷	3,011,880	101,000	3,112,880	3,164,910	△ 52,030	98.4%
四倉	2,089,000	72,000	2,161,000	2,175,000	△ 14,000	99.4%
遠野	724,500	46,000	770,500	773,500	△ 3,000	99.6%
小川	1,011,000	24,000	1,035,000	1,037,000	△ 2,000	99.8%
好間	1,442,500	72,000	1,514,500	1,568,700	△ 54,200	96.5%
三和	419,500	52,000	471,500	502,500	△ 31,000	93.8%
田人	238,500	46,000	284,500	287,500	△ 3,000	99.0%
川前	181,500	40,000	221,500	224,500	△ 3,000	98.7%
久之浜・大久	592,500	52,000	644,500	657,000	△ 12,500	98.1%
市社協取扱分	0	130,000	130,000	134,000	△ 4,000	97.0%
計	38,378,810	1,531,000	39,909,810	40,495,560	△ 585,750	98.6%

企業会員会費推進状況（令和3年度～令和5年度）

令和6年3月31日現在
（単位：円）

地区名	令和3年度				令和4年度				令和5年度				備考
	企業数		納入額		企業数		納入額		企業数		納入額		
	企業数	納入額	企業数	納入額	企業数	納入額	企業数	納入額	企業数	納入額	企業数	納入額	
平	143	1,955,000	139	1,875,000	△ 4	△ 80,000	146	1,965,000	7	90,000			
小名浜	159	1,700,000	145	1,550,000	△ 14	△ 150,000	144	1,545,000	△ 1	△ 5,000			
勿来	109	1,360,000	113	1,380,000	4	20,000	110	1,325,477	△ 3	△ 54,523			
常磐	63	790,000	63	780,000	0	△ 10,000	71	860,000	8	80,000			
内郷	52	650,000	52	655,000	0	5,000	49	620,000	△ 3	△ 35,000			
四倉	46	485,000	47	500,000	1	15,000	47	493,000	0	△ 7,000			
遠野	34	340,000	38	380,000	4	40,000	36	360,000	△ 2	△ 20,000			
小川	19	185,000	18	180,000	△ 1	△ 5,000	17	170,000	△ 1	△ 10,000			
好間	47	475,000	46	480,000	△ 1	5,000	46	475,000	0	△ 5,000			
三和	18	210,000	18	200,000	0	△ 10,000	17	200,000	△ 1	0			
田人	16	160,000	16	160,000	0	0	19	190,000	3	30,000			
川前	9	110,000	9	110,000	0	0	9	110,000	0	0			
久之浜・大久	16	190,000	18	210,000	2	20,000	17	200,000	△ 1	△ 10,000			
計	731	8,610,000	722	8,460,000	△ 9	△ 150,000	728	8,513,477	6	53,477			

令和5年度 福島県共同募金会いわき市共同募金委員会「共同募金」実績

令和5年4月1日～令和6年3月31日現在(単位:円)

	平	小名浜	勿来	常磐	内部	四倉	遠野	小川	好間	三和	田人	川前	久之浜・大久	木部	令和5年度実績	令和4年度実績	増減額
戸別募金	20,502	16,733	11,972	8,136	3,218	4,165	1,448	2,009	2,981	869	475	381	1,184	0	74,073 戸	77,693 戸	△ 3,620 戸
	10,249,750	8,404,861	5,724,400	4,072,709	1,593,350	2,082,500	724,000	1,000,700	1,464,020	434,500	237,500	180,500	592,000	0	36,770,781	38,981,459	△ 2,210,678
街頭募金	2	1	0	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	9 件	8 件	1 件
	12,439	11,288	0	104,907	0	16,023	0	0	5,055	0	0	0	0	0	149,712	40,992	108,720
法人募金	1	10	9	5	2	14	4	4	13	0	0	1	1	283	347 件	634 件	△ 287 件
	5,000	70,000	48,000	18,000	15,000	112,000	20,000	35,000	130,000	0	0	5,000	10,000	3,340,248	3,808,248	4,095,046	△ 276,798
学校募金	23	301	19	11	9	4	4	3	6	1	1	1	3	0	386 枚	114 枚	272 枚
	734,751	494,313	233,806	181,847	175,755	94,525	26,461	31,355	81,195	9,370	19,352	7,071	21,366	0	2,121,167	2,063,907	57,260
職域募金	119	32	32	20	30	14	5	8	69	10	7	4	4	1	365 件	316 件	39 件
	469,823	90,703	166,654	100,386	216,509	26,198	7,600	13,200	15,668	21,600	7,000	5,600	5,100	127,800	1,273,911	1,246,205	27,636
イベント募金	0	0	0	2	0	1	2	1	0	1	0	0	1	0	8 件	4 件	4 件
	0	0	0	37,735	0	6,120	14,430	11,320	0	18,605	0	0	30,363	0	118,573	72,781	45,792
個人募金	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	8	2	13 件	19 件	△ 6 件
	0	0	0	1,223	0	0	0	0	4,508	0	0	0	20,939	21,000	48,070	116,844	△ 68,774
その他の募金	4	12	5	6	1	7	3	1	2	1	0	0	0	1	43 件	49 件	△ 6 件
	14,167	27,986	49,287	5,877	5,725	17,045	12,912	155	11	772	0	0	0	72,984	206,322	193,408	13,514
実績額合計①	20,651	17,089	12,037	8,185	3,260	4,206	1,466	2,026	3,074	882	483	387	1,201	287	76,234 件	78,837 件	△ 1,858 件
	11,485,930	9,099,151	6,222,147	4,522,675	2,006,339	2,354,412	815,403	1,091,730	1,700,857	484,847	263,852	208,171	679,768	3,562,032	44,497,314	46,800,642	△ 760,154
目標額②	11,882,000	9,790,000	6,331,000	4,584,000	3,447,000	2,317,000	798,000	1,083,000	1,667,000	500,000	273,000	229,000	643,000	4,367,000	47,911,000	47,911,000	—
目標達成率②/①×100	96.7%	92.9%	98.3%	98.7%	58.2%	101.6%	102.2%	100.8%	102.0%	97.0%	96.6%	90.9%	105.7%	81.6%	92.9%	97.7%	—
前年度専任者実績③	11,882,632	9,790,915	6,331,809	4,584,258	3,447,587	2,317,712	798,685	1,083,300	1,667,290	500,220	273,559	229,115	643,624	4,360,873	—	—	—
実績率③/①	△ 395,702	△ 691,764	△ 109,662	△ 61,583	△ 1,441,248	36,709	16,718	8,430	33,567	△ 15,373	△ 9,707	△ 20,944	36,144	△ 798,842	—	—	—

